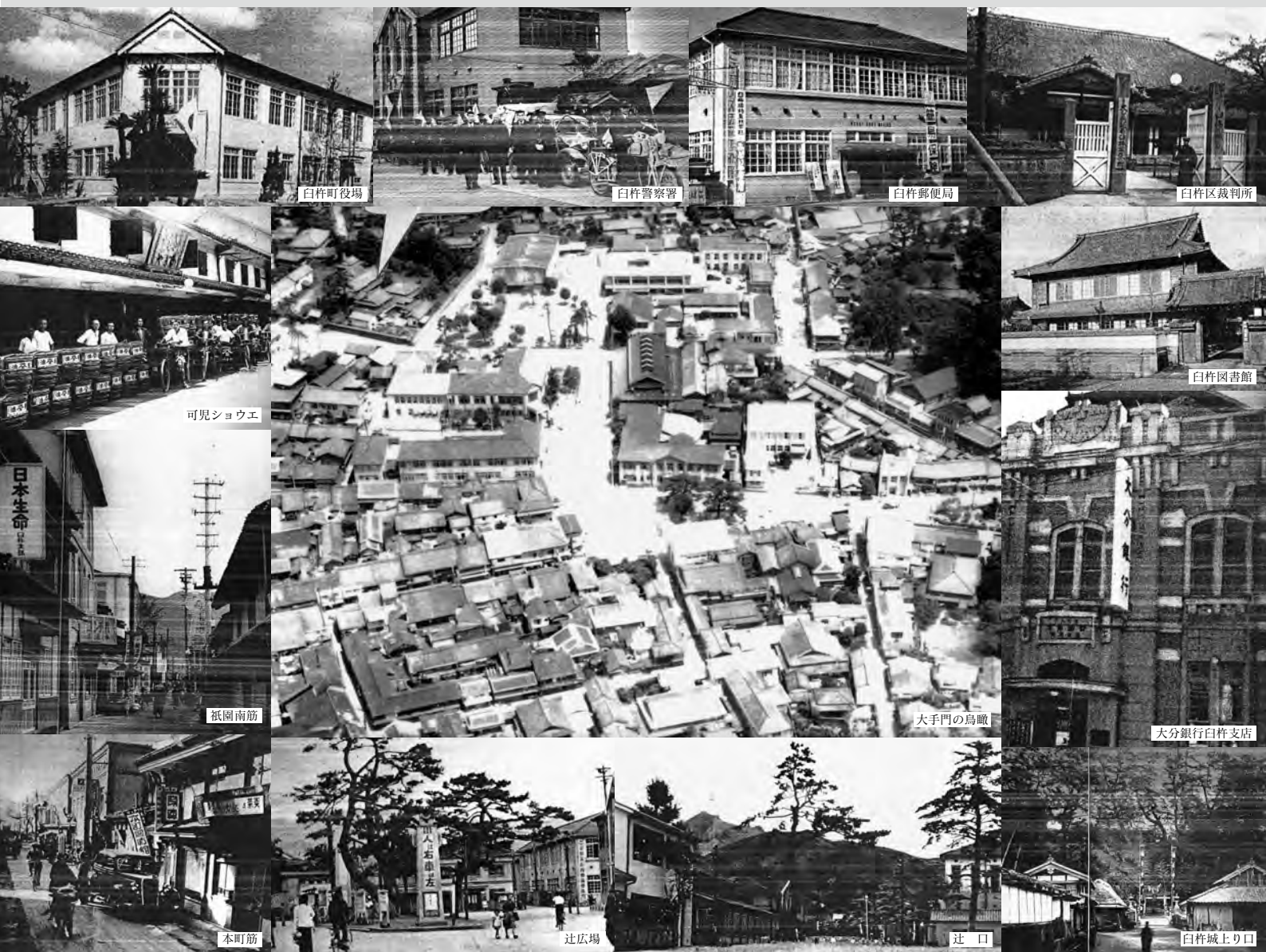


建築士

おおいた

新年号




 社団法人 大分県建築士会

2008 NO 101

CONTENTS

1. 前編集長 笠木忠昭氏を偲んで	笠木 澄子
2. 特集：第50回建築士全国大会北海道大会に参加して	〈大分支部〉 岐部 和久
5. 特集：サマーセミナー in ひた 経過報告	〈日田支部〉 梶原 宏一
9. 特集：第26回建築士会ソフトボール大分県大会	〈大分支部〉 ミツ股嗣朗
10. 大分県建築士会専攻建築士制度のご案内	
16. 連載「福祉と住宅改修」NO.9	〈津久見支部〉 大村 正壽
18. 九州パッションへの誘い 佐賀大会	〈高田支部〉 後藤 憲二
19. 女性部会のPage	〈大分支部〉 和田恵利子
22. MY WORK	〈日田支部〉 〈三重支部〉 〈臼杵支部〉 〈高田支部〉
24. 会員紹介	〈大分支部〉 〈日田支部〉 〈宇佐支部〉
26. シリーズ 登録文化財 NO.22 国見ふるさと展示館	〈高田支部〉 後藤 憲二
28. インフォメーション	
～ 高田支部 ～	後藤 憲二
～ 別府支部 ～	工藤 圭介
～ 津久見支部 ～	濱野 一明
～ 津久見支部 ～	津久見支部街並み調査会
～ 三重支部 ～	市野瀬康平
～ 竹田支部 ～	伊東 政博
～ 日田支部 ～	梶原 和典
～ 宇佐支部 ～	奥田 和彦
～ 中津支部 ～	平松 敏生
40. おおいた建物発掘隊	〈別府支部〉 岡田 宏基
42. 行政だより	大分県建築住宅課
44. 事務局だより	事務局
46. 新会員紹介	事務局
47. 編集後記	



「あんころん臼杵ん町はよかつたなあえ」
 いや、
 「臼杵ん町は昔に比べて そうとうようなつた
 じゃん」
 ……………？
 訪れた人にほめられて喜ぶのか、
 住んでいる自分が、
 ほんとうなつた と感じながら生活していく
 のか、
 まちづくりの命題を言葉ではあらわしきらん。
 百年の大計を見誤らない計画とはどんなものだ
 ろうか。
 本物がまだまだ眠っているというこの臼杵で、
 そんな、誰にもわからないことを考えながら
 いま、ここに活着ているだけでもわくわくする。
 なしか！

前編集長 笠木忠昭氏を偲んで



笠木忠昭氏の突然の訃報に際し、心からお悔やみ申し上げます。
奥様にご無理を申し上げ、偲ぶ思いをお寄せいただきました。ご紹介させていただきます。

夫、笠木忠昭は、昭和28年に生まれました。当時、大人達はまだ戦争の陰を引きずりながら懸命に働いていました。忙しい大人達の監視もなく、子供達は年令を超えて集まり、野外を飛び回っていました。各所に廃墟も残り、わんぱくな子の冒険心を満たしていました。そこに、によきによきと近未来を具現するような建物が現れ、夫は興味をそそられたに違いありません。

旧県立図書館や旧医師会館は、毎日通学の途中に目にする風景であり、多分その中で試験勉強もした生活の一部だったのです。建築に一方ならぬ熱い思いを抱いて名古屋の大学に学び、一旦、設計事務所に就職したものの、地元に戻って公務員となり、建築行政に携わってきました。

個人的には、旧医師会館の保存運動にも関わり、私も壊される前の建物の中を見学しました。外見からは異様なコンクリートの塊を想像していましたが、中に入り驚きと感動の連続でした。道路に続く階段を昇ると、かまぼこ状の下をくぐります。「あっこれは門だったのか」とまず驚き、続いて別の建物が現れます。扉を開くとコンクリートの壁をつたって光が差し込んでいます。明り取りというより、計算された光の道。不思議なことに、事務机が上へ上へと並んでいます。移動は階段です。いかにも効率の悪い配置ですが、心の底からおかしみがこみ上げてきて、体が動き出し、かくれんぼでもしたくなるような気分になりました。上階にはライブや小劇場にもってこいのすり鉢状の立派なホールがあり、内から見る府内城址はコンクリートで切り取られ、数枚の写真を見るようでした。

あれは、建築に対する概念を覆すアハ体験でした。建築は単なるハコモロではなく設計



者の意思を体感するところだと。また、建築は数多くの職人の手を経て、大切な暮らしの場を提供する崇高で何とも魅力的な仕事です。

夫も建物を創りたいという思いを胸に秘めながら、建築をめぐる広範な仕事をこなしていました。しかし、子供の頃にあこがれ、人生の夢としても慣れ親しんだ風景が余りにも早く壊されていく現実にも向き合ってしまった。趣味は全て建築に関する事、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーターの免許も取り、次のステップに向けて労を惜しむことなく密度の濃い時を歩んでいました。

今までいかほどかでも建築士会の皆様のお役に立てたのであれば故人も喜んでに違いありません。生き苦しい世の中ではありますが、大分の風景を創り、人々の生活を支える誇り高い人々を応援しております。

笠木 澄子



【特集】

第50回 建築士会全国大会北海道大会に参加して

帯広珍道中記

おびひろさんどうちゅうき

大分支部 岐部 和久



平成19年9月8日、北海道帯広市の帯広市民文化ホールと、とかちプラザにおいて第50回建築士会全国大会北海道大会が開催されました。

台風とともに・・・

9月3日、私たち地域実践活動発表班（穂山・白石・竹宮・岐部）の4名は全国大会参加に向けての最終打合せ会議を事務局でしていました。

『台風やばいなあ・・・』『7日辺りは関東付近らしいよ・・・』『まあ、当日になってみないとなんとも言えないから確認(旅行代理店)しておきましょう』

こんな会話が飛ぶ中、打合せを行っていました。今思えば出発直前になってこんな事になるとも知らずに・・・



会場準備にとちプラザへ

私たち4人は屋台村の準備とリハーサルの為、最低でも7日の午後現地に入る予定で、大分→羽田→帯広のルートを確認していました。

出発前日（6日・気温32.3℃・快晴）、朝から台風情報とにらめっこ。やっぱり7日は羽田が止まりそうだ判断して、急遽6日の午後から出発に・・・私たち4人は、色々な仕事の予定をどうにかつけてダッシュ！で空港に到

着、台風を迂回しながら20分遅れ羽田入り。着陸寸前はかなり揺れて、本当にここから帯広にいけるのか？と思えるほど、私たちが乗る予定の帯広行きのも、台風の影響によって20分遅れで羽田に来た為、搭乗が遅れる事に・・・欠航便も出てくる中、もうこーなりややくそと4人の強い運気を信じて待つ事1時間近く、やっとの思いで羽田離陸、帯広入りしたのは夜の9時半を回っていました。（帯広空港・気温16℃・雨）

無論この奇跡的移动を祝して帯広の町で乾杯したのは言うまでもありません。

いか踊り・・・

翌日、(気温17℃～15℃・雨)朝ニュースを見ると欠航の文字の羅列が・・・ほぼ1日マヒ状態でしょうとの解説が・・・。改めて無事到着できてよかったと・・・



屋台ブース設置中

結果的に予定より1日早く現地入り(台風のせい)したので、先送りした屋台村展示の荷物が無事届いているか確認して、設営可能なら早めの準備をしようと



後藤さんもパネル作成中

会場であるとかちプラザへ・・・現地に行く途中、お土産を買うのと、慌てて来たので長袖シャツの準備を怠った私はそこに充てようと買出しに・・・帯広に入って最高気温が17℃とは九州にいる私たちにとってやっぱり北海道は寒い！

土産物を買込み、クール宅急便にて発送。

昼食に名物のブタ丼を食して現地入り。現地では北海道建築士会のメンバーが会場準備中でした。荷物の確認と、設営をしたいと告げると屋台村ブースはまだ出来てないので午後2時以降に来てもらえますかとの返答が・・・



トカチ・スローナイトにて

仕方ないので、この場合は荷物の確認だけして帯広の駅方面に、まだ時間があるのでお茶をしようとカフェへ…食と夜の情報を得る為、情報雑誌を広げて4人でミーティング。【北の屋台】なる屋台で町づくりをしている情報を仕入れたので、前夜祭の北海道建築士会青年委員会主催「トカチ・スローナイト」が終わって行ってみようとなり、屋台ブース設営の時間が近づいてきたのでとかちプラザへ…。

現地では、既にブースの設置が終わっていて、他県の出展ブースにはちらほら準備に各県から集まってきました。皆、口々に着かないと思ったのが…。



穂山さんは大人気！

設置を終えて、他県のブースを見学。大分も頑張っているけど他県の士会も頑張ってるなあと、そうこうしている間に時間が過ぎて、トカチ・スローナイトの開催時間に、先に宿泊先のホテルに預けていた荷物をチェックインする為、いったん戻ってスローナイトの会場である「IN THE SUITE」へ。



函館名物いか踊り！

北海道の青年建築士と、会場に無事たどり着いた!? 建築士によって交流会が始まり、最初は少なかった人数も続々と増え楽しい交流の中、最後は函館名物「いか踊り！」で盛大

に終わりました。(いか踊りについては函館商工会議所のHPに行くと詳しく紹介しています) その後、カフェミーティングで打合せた北の屋台に…。

北の屋台「串のやっさん」

ここ【北の屋台】は18軒の個性的な屋台が並ぶ屋台街で、シンボルの「いきぬき」さんを中心に4つ街区から出ています。

ここは平成8年に、帯広青年会議所が中心となって発足し、屋台をキーワードにして他には無い個性的なまちづくりを平成13年にオープンして大成功しているところでは



串のやっさんで熊から出てきた玉

※詳しくは北の起業広場共同組合のHPへ

台風の影響が強まって雨がはげしくなる中、北の屋台の「串のやっさん」へ、ここは平成13年のオープン当初からある店で、牛レバーの刺身はこのナンバー1。確かに行ってみると雨だというのに、どの店も満席！なんとか『九州からきたけん！』と強面(^_^;)の大将をお願いして席を予約。昨日行った居酒屋でツボ鯛を食べながら時間調整、ようやく目的の「串のやっさん」へ、早速牛レバーの刺身とビールを注文して食す。おーっ！うめえ！そこから大将に、他のおすすめは？と…で、出てきたのが熊の串と鹿の串！ちょっと癖のある味だけどこれもうまい！そうしていくうちに大将（安田さん）と仲良くなって、帰り際『明日も6時半位に4人予約！』と、次の日の予約までしてこの夜はふけて行きました。

大会当日・・・

(気温19℃～26℃・快晴) 朝、2日も連続で飲んでいる割には、昨日のレバーが効いているのかそれほど体調が悪くない。ただ、体からいつもにない匂いがする、動物のような…あつ、熊と鹿だ！いかんいかんと風呂にしっかり浸かって汗をだして消臭。食べるとこうなるのかと少し関心しながら準備をして会場のとかちプラザへ、朝のニュースでは台風はすぐ横を通過中らしいのだが現地は快晴。どんな悪天候も快晴にしよう建築士のパワーはすごいなあーなどと…受付をすませて配置へ、穂山さんと白石さんは青年建築士の活動報告・クイズ知ってるつもり・屋台出展者紹介のリハーサルへ、竹宮さんと私は屋台ブースの担当をして開催待ち。9:00会場、地元の建築士を中心に屋台ブースは人だかり、大分から前回の集いで作ったリノベーションマップと最新の建築士おおいた100号



屋台ブースは人だかり！

を、結構な数持って行ったのだが1時間と経たないうちに品切れ！こんな事なら100冊以上もってくればよかったと反省。しかし今回の屋台出展は『密集市街地再生・まちづくりサポート隊』の活動報告がメイン、10:00から始まった青年建築士の活動報告を聞いて、興味を持った方や今取り組んでいる方など、本当に見に来てほしい方が多くなり、屋台出展は大成功となりました。



熱心に説明する穂山さん

今回、屋台だけでなく若手建築士の集いとしてU30の力に、竹宮さんと私で参加してきました。会場のまちづくり交流プラザステージにはブルーシートが一面にしかかれていて、なにやら白地にレンジャー（5レンジャーみたいな…古いなあ）が書いてあるシートが…。会が始まりカラーセラピストの鳥宮 文さんを講師に、色の心理効果講演をしていただいて早速実践へ…先ほどの白シートの季節を決めてレンジャーの心理を色を使って表現するのですが、なにせこんなスタイルのワークショップは経験が無かったので、どぎまぎしながら開始！竹宮さんはリーダーとなって、発表者が徳島の方が発表。かなり奇抜な色彩のシートが出来てしまいました。他のグループも同様にまさにカラフル！ここで塗ったシートは次回全国大会開催地徳島で展示されるとの事。現物はもっとパワーがあるので、是非参加！。

全てのプログラムを終了し、またまた昨日予約した「串のやっさん」へ…早速やっていると沖縄士会の方が…いっしょに飲んで語って、ついでに地元の方とも仲良くなって、このコミュニケーション力はすごいなあ、ちょっと自慢です。



出来上がったシート

帯広最終日・・・

（気温16℃～29℃・快晴）9日、日曜日。大分帰還の日になりました。今日も快晴。まさに抜けるような青空です。帰りかけ、帯広美術館と北海道ホテルを見学して、空港行きのバスの中。到着した時は夜で雨で、まったく見えなかった北海道の広大な景色を見てみると、なぜか北の国からのテーマが…そう、あの「あ～～あ～～あ～あ～」が頭の中で聞こえてきました。行きはどのような事やらと思ひながらのスタートでしたが、振り返ってみるといろんな貴重な体験が出来たすばらしい北海道大会でした。



空港に向かう車窓から…

【特集】 サマーセミナーinひた 経過報告

サマーセミナー広報担当 梶原 宏一

第21回サマーセミナー in ひたにご多忙の中、たくさんの方にご参加いただき誠にありがとうございます。今回のサマーセミナーのこぼれ話等をおりこみながら経過報告させていただきます。



● 準備初期

四役会議等で今回のセミナーの概要を決めていただき、計画を青年部で話し合う事になりました。青年部長、副部長共に地元開催を経験した事がなく、何をすればいいのか手探り状態でのスタートでした。前回日田での開催時の資料のお借りしたり、前回のセミナーの実行委員の方にお知恵を借りたり・・・何度も青年部会を開き話し合いました。

● 実行委員会

6月上旬、第一回実行委員会を開きました。段取りの悪さにお叱りを受けることも多々ありながら…。

計8回、実行委員会を開きました。各委員会を作り、仕事を分散しました。

しかし、仕事のバランスが悪く一部の担当者に負担がかたよる結果となりました。

大会スケジュール

- 13:00 受付
- 13:40 式典
開会の辞
歓迎挨拶
会長挨拶
来賓紹介
来賓祝辞
閉会の辞
スケジュール説明
- 14:10 講演会
日田市民文化会館「パトリア日田」
について
【講師】香山壽夫建築研究所
根路銘 剛次氏
- 15:00 パトリア日田 施設内見学
- 16:30 宿泊先へ移動 チェックイン
青年部長会議
懇親会場へバス移動
- 18:30 懇親会
日田祇園囃演奏
開会挨拶
乾杯
アトラクション
各支部挨拶
日田支部挨拶
万歳三唱
打込み
閉会の辞
- 20:30 宿泊先へ移動
マイクロバス、コミュニティーバス
- 21:30 夜なべ談義

【士(もののふ)よ集え! この天領の地に】

今回のサマーセミナーのテーマです。

今回日田での開催なので、日田らしさをテーマに入れたく、【士】=天領日田をイメージしてみました。

建築士には【士】の文字が入っています。他の資格には【師】の文字が多く(看護師など…)、建築士の【士】の文字は珍しいものです。

姉羽問題など建築士を取り巻く環境が崩壊しつつある今、【士】の意味を考え直す時なのかも知れません。【士】の文字は、武士(もののふ)の精神に通じるものがあるような気がします。プライドを持った【士】でありたいと思います。

士よ集え！この天領の地に

後藤さん、脱帽です！

サマーセミナー in ひたのロゴの謎

今回のサマーセミナーの大会のロゴ(ひたの文字の後ろに漢数字の[三]がある物)には意味がありました。

- 今回日田での開催が三回目であること
- 三隈川の頭文字 など…

気づいていただけました???



何パターンも作った力作

大会冊子の表紙

櫻木会員が豆田町の草野本家(お雛様で有名な)から北方向を撮影したものです。後で聞いた話ですが、夜11時頃、デジカメ片手に人が通り過ぎるのを待ち撮影したそうです。(傍目から見たらかなり怪しい…)ちなみに裏面は三隈川です。

「いや～。観光パンフレットかと思ったら、大会冊子だったんだね!!」とお褒めの言葉を受けました!



櫻木君、お疲れ!!

本番早朝

お忙しい中多くの会員の方々に早朝より準備していただきありがとうございました。セミナー本番前は予想では「日田支部スタッフは20～30程度しか集まらないよ～」と言っていましたが、当日54名と多くの方々に助けていただきました。



多くの皆様、朝早くからありがとうございます!!



リラックスモードですね(´艸´)



入念な打ち合わせ中です

【施設見学】

新しくできた〔パトリア日田〕の施設見学をしました。自然光を多く取り入れる作りになっています。



大ホールの様子

【式典】

長崎県建築士会より3名、県内建築士会より97名の参加者でした。皆様ご参加ありがとうございました。市民会館にて式典をおこないました。



開会式の様子



エントランス部分

【講演会】

香山壽夫建築研究所より根路銘剛次氏に公演していただきました。



講演会の様子



階段部分です

【懇親会】

サッポロビールでの懇親会。日田祇園囃子で開会しました！。



迫力の日田祇園囃子

乾杯の後、夜景を楽しみながらの懇親会スタートの皆さん、焼肉おいしかったですか？



おいしいビール片手に、乾杯！！

2つの町内によるひょっとこ踊りの披露です。突然のことにびっくりしました？



渡辺さん、後藤さん、お疲れ様でした。

アトラクションには地名クイズをおこないました。地元の間人も頭をひねる問題でした。



余裕の表情の回答者の皆様。何問わかりました？

各支部に挨拶していただいた後、ビンゴ大会。景品ほしかったです…



各支部シャッフルした座席にしました。交流が深まったでしょうか？懇親会も無事閉会し、二次会&夜なべ談議へ。

日田の夜の街隈町と夜なべ談議、皆さんの夜はふけていく……



名マジシャンの登場！(▽▽*)

翌朝、朝食後に解散となりました。各支部の皆様、お忙しい中、日田にお越しいただきありがとうございました。

次回開催の支部さん、楽しみにしています！！。

特集

第26回建築士会

ソフトボール
大分県大会



大分支部 三ツ股 嗣朗

第26回建築士会ソフトボール大会が、11月17日(土)に野津原総合グラウンドにて開催されました。

今年は県内各支部より7チームの参加となりました。

昨年度優勝の大分支部建設チームより優勝旗が返還され、芳山憲祐建築士会会長のあいさつに続き、日田支部の長尾学青年部長の選手宣誓がありました。11月とあって朝はかなり冷え込みましたが、皆さん日ごろ動かしていない体を大分支部の宿理浩司さんの指揮の下、ラジオ体操でほぐした後、予選リーグが始まると額に汗を掻きながら一生懸命にボールを追いかけていました。

予選リーグは、2つのグループに分かれそれぞれのグループから上位2チームが決勝トーナメントへ出場できるという試合方法になっていました。

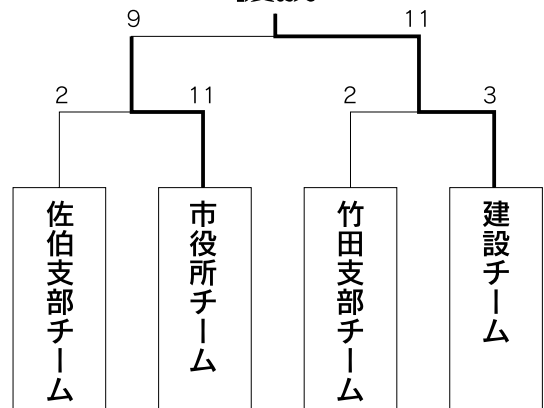
年に一度しかソフトボールをしないという人が大半で、予選リーグでは予想もしないようなエラーや、逆光の太陽を利用した消える魔球など珍プレーが続出しましたが、午後からの決勝トーナメントでは、試合を終えたチームや観客席から拍手が出るほどのファインプレーが随所に見られ、試合自体も非常に引き締まったものになりました。

決勝戦は、大分支部建設チームと市役所チームで行われ、ゲームは建設チームの優勢で進み、市役所チームの最終回の攻撃では8点差がついていましたが、市役所チームの猛攻であと2点という所まで追いつきましたが一歩及ばず、11対9で建設チームの優勝となりました。準優勝は大分支部市役所チーム、第3位は佐伯支部チーム、第4位は竹田支部チームでした。



また、今回の大会は朝は冷えこみましたが、晴天に恵まれて無事開催及び、終了できた事は、各支部の皆様方の、日ごろの行いの良さからではないでしょうか。また当日までの準備、運営をしていただいた役員の方々、大変お疲れ様でした。

優勝



大分県建築士会専攻建築士制度のご案内

専攻建築士制度への本会の取組から、4年が経過しようとしています。取組み当初は、多数の本会会員の方がこの制度の趣旨を十分に理解され、専攻建築士への申請がなされました。しかし、その後、申請数は年ごとに減少の一途を辿っております。本年度は、個々人の建築士の業務内容を消費者のみならず建築関係者にも、詳細にしかも正確に知らせ、これらの人々から篤い信頼を得る〈道具〉としての側面も持っております。会員の皆様には、以上の趣旨をお含みおき頂き、〈専攻建築士〉への登録申請を切にお願い致します。

平成19年12月 社団法人 大分県建築士会

1 8つの専攻領域

専攻建築士の名称・区分は右の8領域とし、実務実績により複数(2領域まで)取得することができます。あわせて、専門分野(得意分野)を表示することができます。

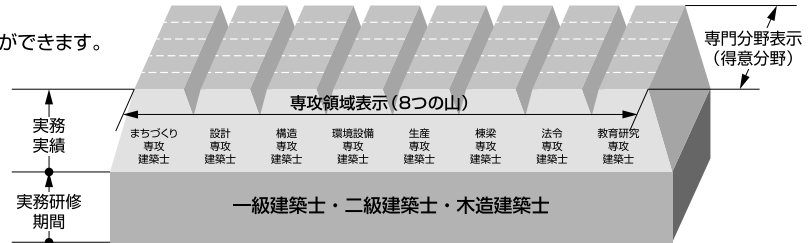


図3 専攻建築士8つの山

名称	代表的な実務と基礎要件
1 まちづくり専攻建築士	①都市デザイン、都市計画に係わる業務 開発事業、区間整理・再開発等の具体的プロジェクトまたは、都市・まちづくりの企画、調査等のコンサルタントに関わる業務 ②地域の住民やNPO団体等による景観保存、まちおこし運動、地域貢献活動等に対する専門家としての幅広い支援活動
2 設計専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の設計及び工事監理等に係わる業務。一般に、建築設計事務所、建設会社の設計部門等で「建築設計者」「技術スタッフ」等として従事している者。その他、官庁・地方自治体・公共団体や民間企業で、設計・工事監理等に従事している者も含む。「APEC アーキテクト」は申請に基づき認定される。
3 構造専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の構造設計及びその工事監理等に係わる業務。「1級建築士」を対象とする。JSCAの「建築構造士」・「APECエンジニア(構造)」は、申請に基づき認定される。
4 環境設備専攻建築士	建築士免許を必要とする建築の設備設計及びその工事監理等に係わる業務。「1級建築士」又は「建築設備士」資格を持つ「2級・木造建築士」を対象とする。(実務経歴年数5年は、いずれか早い資格取得から算定する) ②に示す限定表示をしなければならない。建築士免許を持つ「JABMEEシニア」は、申請に基づき認定される。
5 生産専攻建築士	建築施工関連分野(現場の施工管理、積算、CM、建築リニューアル・維持管理等)に係わる業務。1級の「施工管理技士」資格を持つ建築士の実務経歴年数は、いずれか早い資格取得から算定する。②に示す業務に係わる者は、限定表示をしなければならない。建築士免許を持つ「積算資格者」で、日本建築積算協会の会員は、申請に基づき「積算」*1に認定される。ストック関連団体*2の資格を持つ建築士は、建築士会に入会することで、申請に基づき「診断・改修」に認定される。
6 棟梁専攻建築士	①日本の伝統木造技術を継承し、その技術のもとに伝統建築(社寺建築、数寄屋等)の建築生産全体を統括しつつ、設計・工事監理及び施工(木工技能)を行なう業務 ②日本の伝統木造技術の基礎となる規矩術や木組みの架講技術を修得し、その技術を現代建築に活かし、木造住宅をはじめ、学校や福祉施設等の設計・工事監理、及び施工(木工技能)を行なう業務 以上①又は②の業務を行い、且つ後進の指導にあたる立場の者。
7 法令専攻建築士	次の実績を持つ1級建築士。法令の策定、建築確認、住宅性能評価等に係わる業務。裁判所、行政機関、建築士会等に対する技術的・法的立場からの支援業務又は活動。(裁判所支援:民事調停委員、民事鑑定委員、民事鑑定人、行政支援:建築工事紛争委員会委員、建築士審査会、建築審査会、建築士会の建物相談(法令に関する)等)の実績。「建築基準適合判定資格者」は申請に基づき認定される。
8 教育・研究専攻建築士	教育機関(工業高校、高等専門学校、専門学校、大学等)において、建築に関する教育、訓練等の業務又は、研究・調査・開発機関(大学を含む)及び企業の研究開発部門等で、特定の専門分野の研究開発等の業務。「建築士」免許資格者を対象とする。

2 限定表示

限定表示は、専攻領域を補完するもので、専攻領域の中ですでに特定の業務が実体化し、社会的評価の定まった分野を、特定分野として限定的に表示するものです。当面は、環境設備専攻領域及び生産専攻領域で限定表示を行ないます。また、1限定表示当たり3件以上の責任ある立場での実務実績が必要です。限定表示の複数申請はそれぞれに3件以上の責任ある立場での実務実績を満たせば可能です。

表1 限定表示

環境設備	生産	備考
空気調和設備 給排水衛生設備 電気設備	建築施工管理 設備施工管理 積算*1 診断・改修*2 工事監理	※1:建築積算資格者(日本建築積算協会) を持つ建築士 ※2:特殊建築物等調査資格者(日本建築防災協会) 建築設備検査資格者(日本建築設備・昇降機センター) 建築仕上診断技術者(建築・設備維持保全推進協会:BELCA) 建築設備診断技術者(BELCA) 建築・設備総合管理技術者(BELCA) を持つ建築士
	※1・2の限定表示の場合、備考の資格が必要	

3 専門分野表示

専門分野表示は、消費者から見て「表示があった方が分かりやすい」という視点から設けることを原則としています。専門分野表示は、業務内容を狭める側面もあるので、全ての者が専門分野表示をする必要はありません。
 専門分野表示は、「得意分野」を表示するもので、審査は1分野3件以上の実績で審査します。専門分野表示の数は、1専攻領域当たり3件までとしています。表2は、2007年9月まで認められたものです。表以外の専門分野表示は、当面は建築士会（申請者）から出てきた事例を「認定評議会」で審議して決め、再整理される予定です。

表2 専門分野表示の例示(2007年度)

まちづくり	設計	構造	環境設備	生産	棟 梁	法 令	教育研究
都市デザイン 景観計画 都市計画 再開発 区画整理 ユニバーサルデザイン 防災まちづくり まちづくりコーディネーター まちづくりアドバイザー 街並保存・修景 まちづくり行政	戸建住宅／集合住宅／医療施設 福祉施設／教育施設／生産施設 商業施設／業務施設／文化施設 宗教施設／鉄道施設／宿泊施設 スポーツ施設／漁業関連施設／農業関連施設 社寺建築／数寄屋造／物流施設 伝統建築保護修復／ランドスケープ ファシリティ マネージメント (FM) プロジェクト マネージメント (PM) コンストラクション マネージメント (CM) リフォーム／積算／診断・改修	耐震診断・補強	省エネルギー 情報システム	戸建住宅 集合住宅 維持管理 リフォーム 鉄骨製作図 鑑定書等作成 確認申請代行 コンストラクションマ ネージメント (CM)	伝統型木造住宅 社寺仏閣建築 茅葺合掌造改修 数寄屋造 古民家診断・ 改修・再生等	建築確認・検査 性能評価 保証検査 紛争調停 特定行政庁等業務 建築相談 鑑定書等作成	設計 構造 環境設備 材料・施工 福祉工学 建築計画 都市計画 建築史

4 申請対象者と専攻種別 (制度開始3年年間の経過措置: 6 参照)

申請対象となる建築士:

大分県建築士会の会員で、建築士免許取得後、表3に示す専攻領域別必要実務経歴年数と責任ある立場での実務実績が3件以上あり、かつ()内のCPD履修単位登録を行った者。ただし、3年間の経過措置期間のCPD単位は [6] を参照して下さい。

表3 領域別申請要件一覧

専攻領域	対象建築士資格等	必要実務経歴年数		実務実績件数	必要CPD単位 ^{※1}	実務経歴・実績に代えることのできる協定団体等の資格
まちづくり	建築士	5年		3件以上	250単位	—
設計	建築士	5年		3件以上	250単位	・「APECアーキテクト」
構造	1級建築士	5年		3件以上	250単位	・「APECエンジニア(構造)」 ・日本建築構造技術者協会「建築構造士」
	1級建築士 2級・木造+建築設備士	5年	※2	3件以上	250単位	・建築設備技術者協会「JABMEE シニア」
生産	1級建築士	3年	※3	3件以上	150	・日本建築積算協会「建築積算資格者」※7 ・ストック3団体「5資格」※7
	2級・木造建築士	6年			250単位	
棟 梁	1級建築士	5年	※4	3件以上	250単位	・日本伝統建築技術保存会「正会員」 ・「日本伝統建築技能者」
	2級・木造建築士	8年				
法 令	1級建築士※5	3年		3件以上	150単位	・「建築基準適合判定資格者」
教育研究※6	建築士	5年		3件以上	250単位	—

※1 制度導入時の経過措置期間は除く。

※2 実務経歴年数は「建築士」か「建築設備士」のどちらか早い取得からカウントできる。

※3 実務経歴年数は「建築士」か「一級建築施工管理技士」「一級電気工事施工管理技士」「一級管工事施工管理技士」いずれか早い取得からカウントできる。

※4 実務経歴年数は「建築士」か「一級建築施工管理技士」のどちらか早い取得からカウントできる。

※5 2級・木造建築士の場合、建築基準適合判定資格者に限る。

※6 既に「まちづくり」「生産」で登録された教育研究者は、現登録期間は有効。希望者は更新前に「変更申請」を行うことができる。

※7 協定団体等の資格保有の場合でも、建築士免許取得後の期間は各々の領域で要求される領域別年数を必要とする。

* 一部の建築士会では、連合会と専攻建築士制度について、「協定を締結した団体」の会員も申請することができる。

* 諸々の理由で「建築士試験」の合格に時間が掛かった人達への配慮として、実務経歴年数の緩和規程を設けている。<建築士免許取得からの実務経歴年数が15年以下の者で、建築士受験資格の法定年数を超えた実務経歴を持つ者は、2年まで「専攻建築士の対象実務経歴年数」に加えることができる>

5 専攻建築士の審査基準

専攻建築士になるための要件は、

- ①「CPDを実施すること」
- ②「建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が表3の年数以上あること」
- ③「当該領域の責任ある立場での実務実績」が3件以上あること。

以上の3要件を満たす建築士を、大分県建築士会に設ける「専攻建築士審査評議会」で審査し、連合会の「専攻建築士認定評議会」で承認することで「専攻建築士」として認定・登録されます。

「責任ある立場での実務実績」

- a. 比較的小規模の業務について、企画、計画・設計・監理、調整、施工管理などの大半を行なった実績。
- b. 比較的大きな業務の一部を担当して業務全体を理解した上で関連部署との調整やチームの指導等を行なった実績。
- c. 複雑な条件下の業務、新しい考え方が求められる業務あるいは複数の領域にまたがる業務を主導的又はそれらを総括する立場で行なった実績。

6 登録更新制度

「専攻建築士制度」は、5年毎の登録更新制度を設けます。

登録更新の要件として、実務の確認（専攻領域、限定表示：責任ある立場での実務実績3件以上、専門分野表示：実務経歴での実績3件以上）、CPD単位の確認（領域に係わらず5年間で250単位以上〔研修100～200+実務150～50の幅で〕）が必要となります。

建築士会のCPD制度は、他の団体のCPDと異なり、「実務経歴」をCPDの中に加えるので、「CPD」を毎年データ登録をすれば、更新手続きは簡素化されます。

7 社会への表示

専攻建築士に認定・登録されると、「登録証」、「カード」、「バッジ」の3点が交付されます。認定登録された専攻建築士は、「CPD参加登録者」と共に、建築士会に設ける「閲覧簿」で公開されます。閲覧簿は、毎年更新され「CPD」のデータ登録状況も更新されますので、年に1度のCPDデータの登録をすることをお勧めします。

一部の建築士会では、ホームページで専攻建築士が検索できる仕組みを用意しています。

また、消費者の要請により、正当な理由のある場合は、申請時の資料を開示する場合があります。その他、公共発注の経歴書の一部や転職の際のポートフォリオとしても活用できます。



図5 「登録証」、「カード」、「バッジ」

■ ホームページで専攻建築士を検索

全国の専攻建築士を都道府県毎にWeb検索ができます。(http://www.kenchiku-cpd.jp/senkou/search/search_0.htm)

「専攻建築士を探そう」

各県の建築士会にリンクします

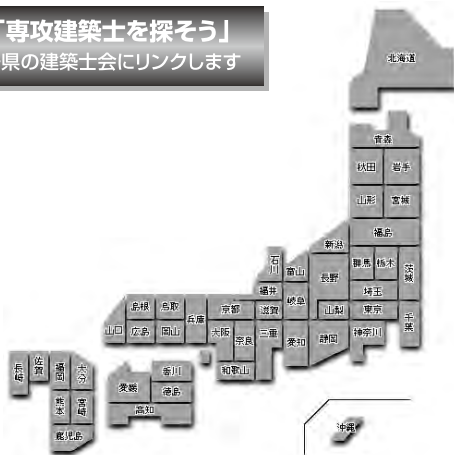


図6 Web検索のイメージ図

8 継続能力開発(CPD)制度

消費者保護が問われる今、まじめに努力をしている建築士を建築士会が応援します！

CPD制度は、建築士会が建築士の実務と研修の実績を記録・証明し、社会に示す制度です。
建築士の能力開発を「実務による能力開発」と「研修による能力開発」の2つで構成しています。

■ 証明書を発行します

CPD参加者には、能力開発の記録用の「CPD手帳」が交付されます。この手帳を建築士会へ提出し、データ登録をすることで、あなたの行った能力開発の証明書を建築士会が発行いたします。

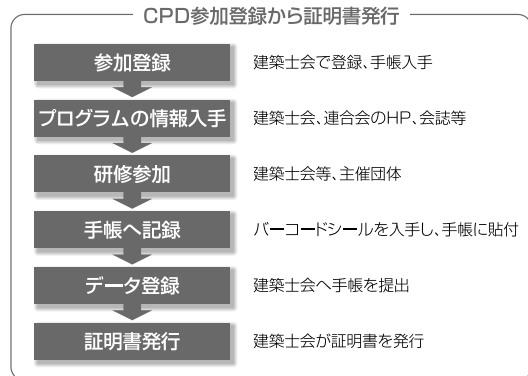
■ CPDで仕事を獲得

ある県の設計事務所では、民間中堅企業の10数件の店舗増設に伴う設計・工事監理の指名入札に「CPD実績証明書」を活用し、競合他社に差をつけることで見事に指名を獲得した例もあります。

また、一部の行政でも指名入札にCPDを加点することを決定しています。

■ ホームページでお名前を公開いたします

データ登録を行った方へは、証明書を発行するほか、日本建築士会連合会の会誌「建築士」（発行部数毎月12万部）にお名前を公表し、ホームページでも「真面目に研鑽に取り組んでいる建築士」として公開しております。



CPD参加登録に係る費用

①手帳代500円(1冊)
②初期登録費500円(初回のみ)
③CPDデータ登録費2,000円(1年分)

9 専攻建築士の社会的メリット

この制度は、消費者保護を目的に始まった制度ですので、先ず、自ら専攻建築士を仕事に活用して頂きたいと考えています。専攻建築士は座してメリットを待つのでなく、積極的に仕事に活用し、社会・消費者から信頼を得られる様に広めていきましょう。また、本制度を活用して成功した事例を建築士会に寄せて下さい。

■ 社会・市民にとって:

建築士のより詳細な情報が開示されることにより、建築士の仕事、その役割や責任は何か、多様な専門家の位置づけも明確になり、建築全体への社会の理解が深まり、建築士への信頼も高まります。又、「専攻建築士」の顕在化は、「一定レベルの能力と、実績のない建築士」との区別・淘汰が始まり、「良貨が悪貨を駆逐する」ことに繋がります。その結果、欠陥建築の逡減を図ることができます。

■ 発注者にとって:

努力・研鑽し、仕事のできる建築士＝「専攻建築士」が明確になり、発注者は「優良な建築士」を選択しやすくなります。設計や工事の発注等で、人の質の確保を図ることができ、結果「建築の質」を担保することになります。又、多様な専門家の役割と責任が明確になるので、発注者が望む目的に適した専門家を選択することで、発注時の誤解やミスマッチを防止することができます。

■ 雇用者にとって:

「質の高い建築士」を雇用し、社員の技術レベルの維持向上を図ることは、企業の事業成果を高めると共に「人材育成の取組姿勢」が社会から評価されることとなります。仕事を受ける際の業務体制表等で「CPDの研修記録」や「各領域の専攻建築士」を表示する積極的な情報開示は、顧客からの信頼性が高まります。

■ 建築士にとって:

役割と責任を明示することは、建築士業務への発注者の理解が深まり、無用な衝突や論争を避けることができます。第三者による「CPD」や「実務実績」の証明により、信頼を得やすくなり、自らを有利に売り込むことができます。「CPD」の記録と登録により、研修や仕事の履歴が蓄積され能力開発の目安も得ることができ、かつPRのためのポートフォリオの作成も可能です。結果として、「信頼のおける建築士」として、活用される機会が増えます。

表4 専攻建築士のメリット

市民のメリット	発注者のメリット
<ul style="list-style-type: none"> 欠陥防止 建築士の信頼性確保 優良建築士の顕在化 建築士への理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 発注トラブルの予防 建築の質の確保 適切な専門家の選択 客観的な技術力評価
雇用者のメリット	建築士のメリット
<ul style="list-style-type: none"> 自社営業PRに活用 顧客の信頼性が増す 事業の質を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事のチャンスが増加 受注時の有利な扱い 仕事のリスク軽減 自己研鑽の目標と成果の証明

連携と自立 (他団体との連携状況)

建築士会連合会は、「自立と連携」のキーワードの下、まちづくり、法令を除く5つの専攻領域に関連する9団体と協議を重ね、合意協定、確認書を締結しました。図3は各専攻領域と団体資格との関係を示したものです。近く、合意協定を締結した団体との連絡協議会(仮称)を設置し、本制度の社会的定着を推進します。

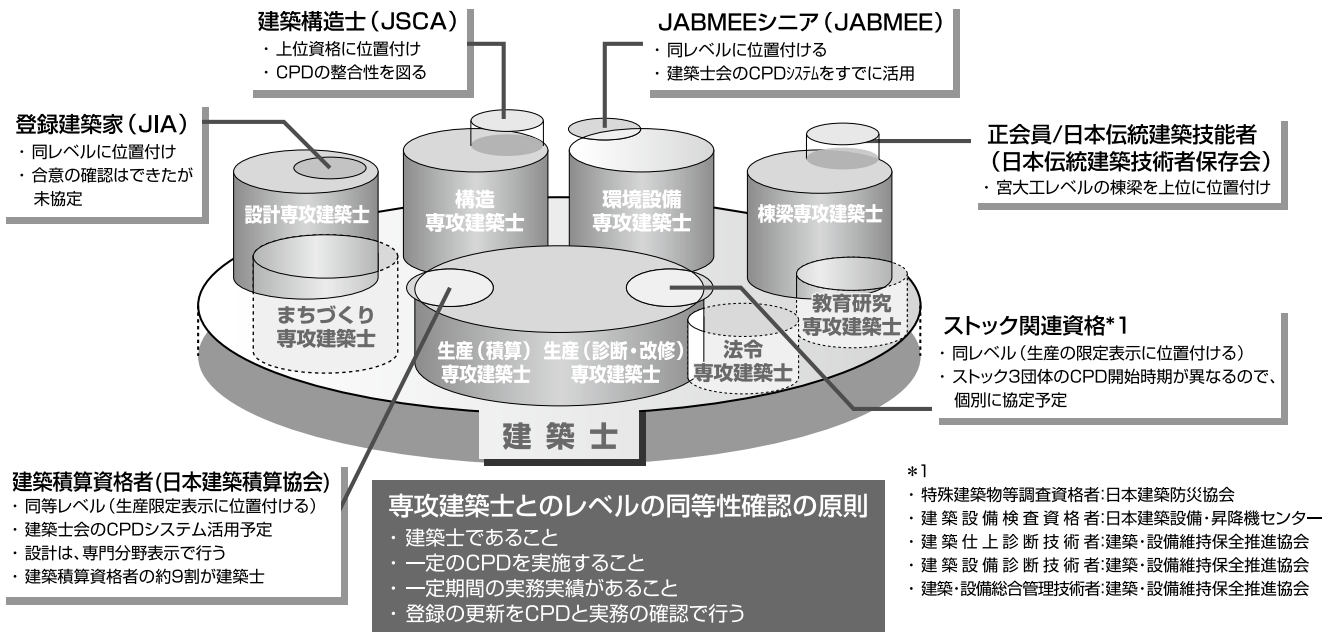


図7 合意協定をした団体資格との位置づけ

平成19年度

大分県建築士会専攻建築士制度申請方法について

1 関係書類の配布 配布期間：平成19年12月25日(火)～平成20年2月8日(金)

配布方法

- A | 本会ホームページ(<http://www.oita-shikai.or.jp>)よりダウンロード
- B | 氏名、送付先と「専攻建築士申請書希望」と明記し、FAX等にて下記事務所までご請求下さい。
- C | 本会事務局にて直接受け取り。データで配布希望の方はフロッピー持参のこと。

2 審査・登録申請書類の受付 受付期間：平成20年1月7日(月)～平成20年2月8日(金)

- 受付場所 (社)大分県建築士会事務局
- 申込方法 必要書類を本会へ持参、または郵送にて申請してください。

3 申請に必要な書類

- 1 審査・登録申請書(19年度用の登録誓約書等を含む指定書類。なお、提出された書類等は返却できません)
- 2 写真2枚(無帽、無背景、正面上3分身を写した証明写真で、最近2ヶ月以内に撮影されたもの裏面に氏名を記し申請書所定欄に貼付) ※登録者カード作成の都合により、プリンター出力での写真はご遠慮願います。
- 3 審査登録手数料払込受付証明書の写し(申請書所定欄に貼付)
- 4 建築士免許証の写し、及び他建築関係資格免許証の写し(実績免除資格者は、CPD単位申請が免除されます)
- 5 CPD個人実績証明書、及び個人実績表の写し(CPDデータ登録証明として事務局が発行したもののコピー)
- 6 CPDプログラム認定申請書、CPD手帳(CPDデータ登録がまだの方)

4 手数料等 16,800円

■ 手数料 16,800円：審査手数料 10,500円(うち、消費税500円)、登録手数料 6,300円(うち、消費税300円)

■ 郵便振替：01770-9-114408 名義：社団法人 大分県建築士会

郵便局に備え付けの振込用紙にて、上記郵便口座に払込み納付し、その際発行される郵便払込請求書兼領収書の写しを審査申請書の所定欄に貼付けて下さい。 ※複数領域希望者は、一領域追加毎に審査手数料10,500円(税額込)を加算。

申請及びお問合わせ先

申請書式・記入要領等については、申請案内所及び記入の注意をご参照願います。

(社)大分県建築士会(専攻建築士審査委員会事務局)

〒870-0022 大分県大分市大手町2-2-7 田原ビル2F

TEL:097(532)6607 FAX:097(532)6635

E-mail:info@oita-shikai.or.jp URL:<http://www.oita-shikai.or.jp>

(問合せ・受付時間 平日9:00～17:00、土日祝は休日)

尚、CPD制度、及び専攻建築士制度の全般に関する問合わせは下記事務局までお願い致します。

(社)日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 TEL:03(3456)2061

URL:<http://www.kenchikushikai.or.jp/>



***** 津久見支部 正会員 *****

福祉住環境コーディネーター 大村 正壽

大分県の介護や社会福祉に関係する方々の研修の場や、高齢者や障がいのある方のための福祉の拠点的な施設である「大分県社会福祉介護研修センター」(以下研修センター)にお伺いした。



研修センターのパンフレットによると…『少子高齢化が急速に進行し、介護や子育てを社会全体で支える環境づくりが必要になってきました。高齢者や障がいのある方は、住みなれた地域で安心して暮らすことを何より望んでいます。そのためには県民一人ひとりが生涯にわたり健康で自立して暮らすことができる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことができるよう生活習慣病予防や介護予防に積極的に取り組まなければなりません。また、在宅介護は多様なサービスを利用しながら、自立に向けての取り組みが重要となっています。(以下省略)』とある。

受付で『建築士おおいた』の記事にしたい旨を伝え取材のお願いをした。研修センター介護研修・総合相談課主任 毛井 敦氏より丁寧に案内と説明をいただいた。毛井主任によると「介護保険制度が始まるまでは、高齢者や障がい者に対するトイレ、バス、キッチン、洗面台等や福祉用具はメーカーや取扱所での展示は今ほどではなかった。そのため、研修センターでの展示やモデルルームのはたした役割は大きかった」との事である。現在では、住宅機器メーカーのショールームの多くは、高齢者や障がい者に配慮した製品を開発し、展示をしている。

私事であるが数年前に、父が人工股関節にする手術をした。そのためトイレ、浴室、階段の手すりが必要となり、改修のために研修センターに見学と相談で大変お世話になった。(『建築士おおいた』2006No.95号に記事を掲載)

父がモデルルームと展示場で、実際に浴室やトイレを使用して使い勝手を試すことができ、機器の選定と改修に大いに役立った。



研修センターには「高齢者総合相談センター」が併設され、高齢者の生活全般にわたる相談・助言を行っている。

その「展示場相談の分類」資料によると、下記の4つに分類されそれぞれの相談件数が載っている。

- ① 福祉用具に関するもの (さらに16に分類)
- ② 介護相談 (さらに2つに分類)
- ③ 住宅改修 (さらに6つに分類)
- ④ 制度等 (さらに3つに分類)

平成19年度の11月(25日?)までの集計で相談件数の上位3位までは、1位は①の「歩行補助用品」125

件（全体の15.6%）、2位は④の「介護保険」119件（同14.9%）、3位は①の「靴」58件（同7.2%）となっている。③の住宅改造は、「全般」23件（同2.9%）、「浴室」3件（同0.4%）、「玄関」1件（同0.1%）、①の中に住宅関連として「手すり・スロープ・昇降機」28件（同3.5%）である。

毛井主任の説明では、「住宅改造」の内容は設計や施工までの具体的な相談では無いそうである。実際に工事を行う場合は業者に任せて行われていると思われる。

気になる点は、介護保険を利用して改造や改修を行う場合、介護支援専門員（ケアマネジャー）の住宅改修の指示通りに出来上がったか、それが利用者にとって使いやすいかの評価がされているかである。

『建築士おおいた』2006No.97号に大分支部青年部主催の福祉介護講習会を研修センターで開催された記事が掲載されていた。

大分支部 岐部和久氏によると『講習会の講師の方と「今後の参考にしたいので専門家（建築士）の意見を聞きたい」、「双方の立場の人が集まって意見交換会をしてみてもいいのではないか」との意見があった。』とある。

また、同支部 野上和彦氏は、『せっかく建築士が見学したのですから、それだけに終わらせず問題点があればその個所を指摘し、どのように改修したらよいか提案し、人にやさしい住宅を展示すべきだと思いますが、如何でしょうか。』と述べられていた。

お二人のご意見に同感である。高齢者や障がい者の目線に立ち、医療・福祉・介護の専門職の方々と建築士が連携してチームを組み、使用者（利用者）のために最良の住環境を提供できるシステムの構築を早急に作る必要があるのではないかと思う。

しかし、医療・福祉・介護の専門職の方は互いに連携を取りながら活躍をしているように感じるが、建築士に対しては距離がありすぎられているのではと想像する。

建築士の方も医療・福祉・介護の専門職の方に対して同じように思っているのではないか。

今こそ、高齢者や障がい者のための住環境づくりのために各専門職が有機的な関係を持つ努力をすべき時ではないか。

そのためには建築士会や建築士が医療・福祉・介護の専門職の方たちやその団体に、自ら働きかけねばならないのではないか。



研修センターに隣接するウエルフェアテクノ大分（先端在宅福祉システムやさまざまな工夫を備えた高齢者に配慮した「住環境」を開発するための研究住宅）に対し意見や提案をすることが先述の岐部和久氏と野上和彦氏のご指摘のように建築の専門家としての役割と言える。

大分県建築士会や建築士が医療・福祉・介護の専門職の方たちやその団体と連携をし、常に理想に向かって改良と改善を続け、よりよい住環境の提案をすることが、県民に対して建築士会・建築士の社会的な貢献の一助となると思う。

お忙しい中、親切丁寧に対応くださいました大分県社会福祉介護研修センターの介護研修・総合相談員主任 毛井 敦氏と職員の皆様にご心より感謝申し上げます。

●大分県社会福祉介護研修センター

大分市明野東町3丁目4番1号

TEL 097-552-6888

FAX 097-552-6868

URL <http://www.okk.or.jp>

【敷地面積】 11,767.42㎡

【延床面積】 6,683.57㎡

(本館/6,236.54㎡、住宅改造モデル展示場/249.79㎡、テクノハウス/197.24㎡)

【建物構造】

○本館/鉄筋コンクリート3階建

○住宅改造モデル展示場/木造2階建

○テクノハウス/郊外型の軽量鉄骨造2階建

【休館日】

○毎週月曜日（土、日曜日開館）

○祝日は休館（土、日曜日と重なる場合は開館）

○年末、年始（12月29日～1月3日）は休館

九州パッションへの誘い

佐賀大会

青年部会長 後藤 憲二

今年度は、“建築士の集い”が大分県で6月に開催されました。“パッション”は、佐賀県にて開催されます。

“パッション”って何？ という方はいらっしゃいますか。

“パッション”は、「九州は一つ」を合言葉として、大会開催県、地域の建築文化・歴史等に触れると共に、一般市民や学生との交流の場を設けることにより、一般市民の建築士会活動への理解度を高めることを目的として開催されています。

今回は、佐賀県唐津市で平成20年2月9日(土)に開催されます。大会会場は、唐津市民会館、懇親会が城内閣です。

唐津市は、その名が示唆するように、中国大陸(唐)に通じる港町(津)として早くから開けていた土地です。日本三大松原の一つ虹の松原や、日本最古の水田稲作跡が見つかった“菜畑遺跡”(縄文晩期後半)、唐津神社の秋季例祭“唐津くんち”などで有名なところです。

今回の第4分科会でも取り上げられている名護屋城は、市北部の海岸部に1591年に築城され、翌年から豊臣秀吉により行われた朝鮮出兵の拠点でした。

1602年から名護屋城に代わり現在の唐津市中心部にあたる地域に唐津城を築城し、以後は唐津城を中心にした城下町が形成されました。唐津藩は藩主家の交代が何回か行われており、歴代藩主の中にはのちに天保の改革で名を知られた水野忠邦も含まれています。

大会の分科会は、4分科会に分かれており、興味のある分科会に参加して見聞を広めて下さい。それぞれの分科会を簡単にご紹介します。

■ 第1分科会

「旧高取邸、佐賀東高等学校の見学」

明治から大正期にかけて炭鉱王の名をほしいままにした高取伊好(たかとりこれよし)が建てた唐津市城内の邸宅は、明治時代の中上流階級が残した住宅遺産の代表作とされ、国の重要文化財に指定されています。他にも城下町特有の堀や白壁等、明治・大正時代の貴重な建造物があります。一方で最近、佐賀県が推奨する「ユニバーサルデザイン」を取り入れた、新しい中高一貫の教育施設があります。これら新旧を対比しながら散策や見学します。

■ 第2分科会

「環境と自然エネルギー」

石油エネルギーを減らすのに効果的な原子力発電、今では依存度も高くリスクを承知で増基され、使用済みの燃料の処理も含め不安を取り除くことが出来ないのが現状です。安全性の高い自然エネルギーとは何か、どう利用したら良いのかを提議します。

■ 第3分科会

「曳山の歴史と保存」

曳山は、唐津くんち(11月3日、4日)の前夜に宵曳山と呼ばれ14台の曳山は飾り提灯に飾られ、万燈に映える金銀丹青も鮮やかに華麗なる巡行が展開されます。

分科会では、曳山の歴史と唐津っ子の曳山に対する思いを聞き、曳山展示場にて勇壮な曳山を見学したり唐津神社を拝観したりと、唐津の魅力を存分に味わえると思います。

■ 第4分科会

「名護屋城址跡ジオラマ作成ワークショップ」

名護屋城内に建築され、秀吉が気を許したもののしか通されることが許されなかったとされる草庵の茶室ときらびやかな黄金の茶室を400年昔の思いをはせながら、自分たちの思いを込め作成します。

女性部会の page

平成19年度 第2回大分県女性建築士住宅セミナー報告

開催日時 平成19年9月29日(土)
テーマ 職人と木の家造り
講師 (有) 藤丸建設代表取締役 藤丸 直行氏
主催 大分県農林水産部 林産振興室
(社) 大分県建築士会 女性部

大分支部 和田 恵利子

9月も終わりを告げる頃、文化会館にて「第2回大分県女性建築士住宅セミナー」が開催されました。第1回のセミナーでは、木の家造りで基本となる木材について勉強しましたので、今回は家を造る職人さんサイドからの木の家造りについて講演して頂きました。

まず、大分県建築士会女性部部長の阿南さんより「開会のあいさつ」、大分県林産部林産振興室参事の川村さんより「大分方式乾燥材の活用についての説明」、大分県建築士会女性部副部長の野依さんより「第1回セミナーの報告」の後、いよいよ藤丸建設代表取締役の藤丸直行氏による講演が始まりました。



藤丸氏は現在も現役の大工職人で、無垢の木材の美しさを生かした現代建築をテーマに、自然素材をふんだんに取り入れた、新建材を使わない住宅造りに取り組まれています。現在は、3名の女性大工を含めた平均年齢25歳の若い大工集団で、「気持ちを込めた気持ちの良い家」をモットーに家づくりをされています。

藤丸氏は、さすが大工職人で木の事を大変よく知り尽くしており、故に、その木を生かした家を造るため

に研究を重ね、熱や空気を閉じ込めるような不自然な住まいを造るのではなく、独自の技術として確立した基礎断熱と外断熱工法、そして自然素材の珪藻土や地元県産材を使用した「呼吸する家」を提案されています。配布された資料の中には、基礎断熱・外断熱工法の家とそうでない家との温度・湿度データを記録したものがああり、分かりやすく説明して頂きました。そもそも「呼吸する家」を提案するに至ったのは、「自らが家を建てたお施主さんと一生お付き合いしていく」という職人としての信念が、安心・安全・健康な木の家づくりにつながっているようです。また、お施主さんの家のメンテナンスをする際、床下に潜った若い大工職人が、微量ながらも断熱材のグラスウールを吸い込む事に大変心を痛め、それが基礎断熱工法を取り入れるきっかけになったそうです。

また、こんなお話もして頂きました。今や、伝統的な木造軸組住宅の担い手である、高度な技術・技能を持った大工職人は、数の減少及び高齢化が進み、技術・技能の継承が困難になりつつあります。これを阻止するために、藤丸氏は積極的に若者を受け入れ、「確かな技術と職人としての誇りを持つ若い大工職人を育てる」事に情熱を注がれています。そして技術だけではなく、「お施主さんへの感謝の気持ち」を心構えとして身につけてもらいたいと思い、ご指導されています。それは「そういった職人が造る家はやはり何かが違う」と完成した家を見る度に感じているからだそうです。

最後に「これからの家造り」についてお話頂きました。これからは「家を建てて病気を治す」という事をテーマにしていきたいと考えているそうです。健康的な住まい(有害物質を発生させない)であることはもちろんのこと、それに加えて「脳にストレスを与えない」「マイナスイオンを多く発生させる」家について研究されているそうです。

講演会のテーマは「職人と木の家づくり」でしたが、講演会が進むにつれて、話に熱を帯び、家づくりの話だけでなく、大工職人事情までと様々なお話を聞くことができ、とても勉強になりました。

藤丸氏の温かい人柄と方言も交えた口調に、参加された一般の方々は、話に引き込まれた様子でした。

平成19年度 第3回大分県女性建築士住宅セミナー報告

開催日時 平成19年11月10日(土)
主催 大分県農林水産部 林産振興室
(社)大分県建築士会 女性部

スケジュール

9:15～ 9:30 大分県駅時計台前集合・受付 出発
10:10～11:00 『大分市坂ノ市S邸』住宅見学
11:10～12:00 「自然食品店 道楽」にて昼食
12:30～13:20 『大分市パークプレイス公園通りT邸』
木造構造見学
13:30～14:10 『大分市パークプレイス公園通りI邸』
木造構造見学
14:30～15:10 『大分市田尻N邸』住宅見学
15:30 大分駅にて解散

大分支部 和田 恵利子

11月10日、「第3回大分県女性建築士住宅セミナー」が開催されました。

今回のテーマは「大分県産材を使った木造住宅の構造見学と完成住宅の見学」です。

9時30分出発の予定でしたが、参加者の皆さんはそれよりも早く集まれ、参加の意気込みを感じました。

バスに乗り出発すると同時に、女性部部長の阿南さんより挨拶と簡単に見学現場の説明がありました。



今回見学する住宅のうち3軒は女性建築士が設計し、しかも棟梁までも女性という、女性建築士住宅セミナーならではの充実した見学内容となっていました。

しばらくして、最初に見学させて頂く坂ノ市のS邸に到着しました。このお宅は、今年の7月に出来たばかりで、まだ木の新しい香りがしていました。

真壁造りで梁の見える造りに、参加者の方からは、「いいねえ」という言葉がたくさん聞かれました。



この日は暖かいという事もありましたが、窓を開けていても室内は決して寒くなく、無垢の桧の床板がとても気持ち良かったです。

このお宅の目玉は、キッチンの作業カウンターとダイニングのテーブルが、ひと続きの一枚の無垢板で作られており、「一見の価値あり」でした。



昼食は『自然食品店 道楽』で玄米弁当を頂きました。



ここは、スタッフ自ら手作りの黒米のおにぎりと、豆腐を中心としたヘルシーなメニューで、食後のおからのコーヒーまでおいしく頂きました。



昼食後は、パークプレイス公園通りにあるT邸を見学しました。ここは、完成して2年ほど経ったお宅ですが、玄関に入る前から木の香りがしました。また床や柱・梁材が時を経ていい飴色になっていて、先ほどのS邸とは違った味わいがありました。木造住宅の魅力をまた1つ感じて頂けたと思います。



続いて、同じくパークプレイス公園通りにあるI邸を見学しました。こちらはまだ施工中の現場で、ついこのまえ、上棟式を終えたばかりでした。



参加者の方からは活発に質疑があり、木造住宅に限らず住宅に関する疑問や不安を解決して頂けたようでした。

最後に、田尻にあるN邸を見学しました。こちらも施工中の現場で、構造材等を見て頂きました。



参加者の皆さんは、先ほどの現場で慣れたのか、家の奥まで入って行き、配布された図面と現場を照らし合わせながら見学していました。

今回、一般の方は20名ほどご参加頂きました。

完成住宅・施工中の現場ともに、施主および施工者の方々のご協力で、事故もなく、安全にゆつくりと見学することができたと思います。

女性部会の皆さんをはじめ、建築士会員の皆さん、またの機会がありましたら、一般の方もお願い併せの上、是非参加してみたいはいかがでしょうか？

MY WORK

- ★建物名称 屋形看板
- ★建物場所 日田市中本町5-4
- ★建築主 合名会社まるはら
- ★設計デザイン 渡辺 隆美
- ★施工者 (有) 渡辺石調工房
- ★素材 石・鉄・木・銅



★設計主旨

合名会社まるはらは明治32年創業、今年で108年を迎える県内でも老舗の味噌醤油メーカーである。斬新な現代彫刻風のデザインも頭を過ぎったが、建物が日田市景観賞の第1号に指定されている建築物であることから屋形看板のデザインとした。本来なら木造の造りであるところだが、耐久性を考慮し屋根仕舞い等は鉄製の造りとし、風情且つ重量感のあるものとした。

- ★建物名称 三重総合高校統合記念モニュメント
- ★建物場所 豊後大野市三重町秋葉
- ★建築主 大分県 学校施設課
- ★設計者 (株)後藤建築設計事務所
- ★施工者 (有)創美社
- ★構造 鉄骨造
- ★用途 モニュメント
- ★竣工日 平成19年3月

★設計主旨

平成18年に三重高校、三重農業高校、緒方工業高校、竹田商業高校の4校が合併し新しく三重総合高校として生まれ変わりました。その記念事業の一環としてのモニュメントです。

4本の独立柱は特色ある4校をイメージし、その柱を包む4本の広がる輪は各校の伝統や実績を受け継ぎながら発展的に統合が進みさらなる活力を生み出す教育施設となってほしいという関係者一同の願いを表しています。



MY WORK

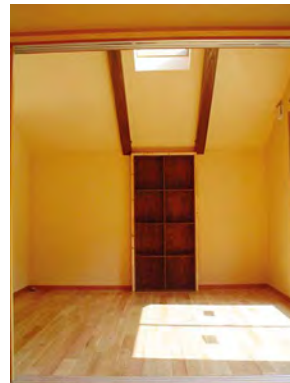
- ★建物名称 (株)エコアップ社宅新築工事
- ★建物場所 臼杵市大字板知屋1214番地
- ★建築主 (株)エコアップ
取締役社長 中村よし子
- ★設計者 T's architecte 竜一設計工房
- ★施工者 佐藤建築
- ★構造・面積 木造2階建て 151.62㎡
- ★用途 住宅

★設計主旨

施主参加型造園業を経営する中村さん、仕事上、人とお付き合いが多いのでリビングは開放的な広い空間を希望されました。

今は、関係者呼んでミニコンサート(写真にはないですが、グランドピアノを置いてます)を開いています。

臼杵の海岸部に位置しますので、夏は海からの風を感じ・秋は紅葉・春は花々。社名のエコアップに基づき“安らぎ”“ゆとり”“癒し”のある住空間と喜ばれております。



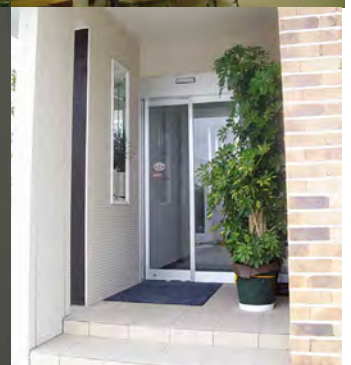
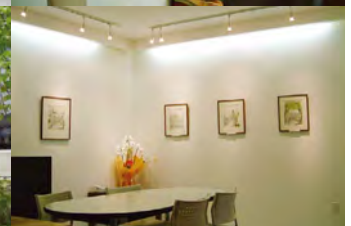
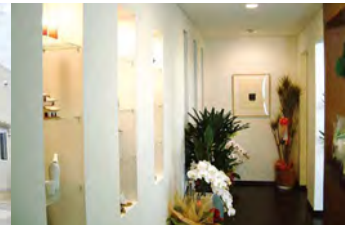
- ★建物名称 西日本ホーム株式会社 本社社屋
- ★建物場所 豊後高田市新地
- ★建築主 西日本ホーム株式会社
- ★設計者 後藤 憲二
- ★施工者 西日本ホーム株式会社
- ★構造・面積 木造(2×4) 平屋建
- ★用途 事務所、ギャラリー
- ★竣工日 平成19年6月

★設計主旨

会社の社屋として利用するだけでなく、地域の人達に色々な催場の会場として開放することを目的として計画しました。

建物のほぼ中心の中庭により内部空間を区切り、事務所空間とギャラリー空間を程よい干渉となるようにしている。

ギャラリーは、前庭のテラスと一体に利用でき、軒下より出る伸縮テントによって半外空間を自由に設定できるようにしている。手作りケーキの販売、絵画展、各種セミナーなどに活用されています。

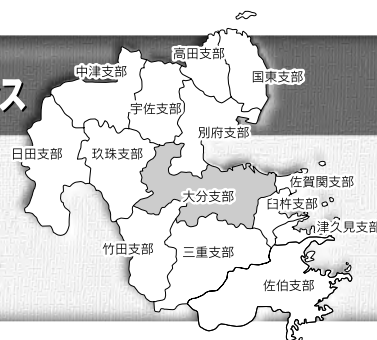


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



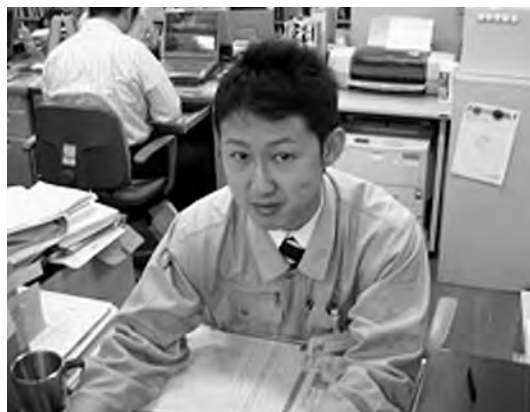
- ★生年月日 昭和56年7月5日
- ★勤務先 大分市下水道部下水道施設課
- ★趣味 温泉に入ること
インテリアショップめぐり

★将来の夢、モットー等

この度、建築士会大分支部に入会致しました、大分市下水道部下水道施設課の太田です。

「建築屋なのにどうして下水道なの!?!」と思われる方もいらっしゃるかと思います。実際に私も入所当時はそう思っていました。下水道部103人の中で建築屋はたったの3人、在籍している下水道施設課は、土木・建築・機械・電気・化学・現業・事務とたくさんの職種が混在している課です。

しかしながら、建築屋として、又、行政マンとして働いている以上そんなことは関係ありません。「我以外皆師」という言葉を胸に、ただひた向きに頑張っていくだけだと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



太田 将弘 (大分支部)

- ★生年月日 昭和52年9月7日
- ★勤務先 WHITE SPACE kadowaki
一級建築士事務所
- ★趣味 映画鑑賞、写真

★将来の夢、モットー等

はじめまして門脇と申します。よろしくお願いたします。

建築士として日々仕事をさせていただいていますが、6月20日の法改正の内容にも少しずつ慣れ、ようやく、仕事の流れも落ち着いてきました。

施主様との打ち合わせなどで、建築的技術はもちろんのこと、その他建てる側としてのご意見をいただき、日々勉強だと思う今日この頃です。

自分の持てる知識やデザインを出来る限り社会にフィードバックし、施主様が持つ一人ひとりのバリアを取り払い、住む人、利用する人みんなが実感できるバリアフリーの建築を作れる様、頑張っていきたいと思っています。



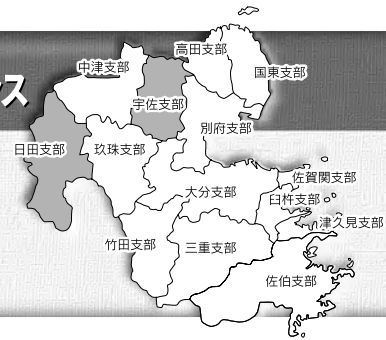
門脇 秀享 (大分支部)

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



★生年月日 昭和53年1月24日
★勤務先 フリーの大工
★趣味 ドライブ

【建築士会に入った動機】

いろいろな人との交流、付き合いの幅をひろげ、知識、見解を深めたいと思います。

★将来の夢、モットー等

【建設業に携わるきっかけ】

～幼少時～

自分ん家が建つのをみて「大工さんってかっちょい～!!」が、この道のきっかけ。

～高校時代～

進路指導室にて、友人K氏によりスカウト。K氏と共に弟子入り。

【仕事の目標】

設計から施工まで多種多様なニーズに答えられるような仕事がしたいです。

なんてたって『スーパー大工!』に、なる!!
なんちゃって(´艸`)



朝野 文博 (日田支部)

★生年月日 昭和48年6月30日
★勤務先 宇佐市 建設水道部
建築課 指導審査係
★趣味 サッカー、魚釣り、飲酒

★将来の夢、モットー等

大分市の(株)朝来野工務店に7年間勤務した後、宇佐市役所に建築技師として採用され早くも5年目になりました。

10年ほど前に建築士を取得しましたが、今までの建築士会に入会する機会がありませんでした。しかし、この度諸先輩方の熱心なお誘いもあり、晴れて入会させて頂きました。

これからも、さらに勉強して一人前の建築士になれるように頑張りますので宜しくお願いします。

最後になりますが、宇佐市に確認申請を持っていく際には、お手柔らかにお願いします。



中園 健太郎 (宇佐支部)

シリーズ 登録文化財 No.22

「国見ふるさと展示館」

高田支部 後藤 憲二



ペトロ岐部カスイの貴重な資料やパネルの展示室

名 称：国見ふるさと展示館
所 在 地：大分県国東市国見町岐部
建 築 年 代：明治初期
登 録：平成12年12月4日
構 造：木造2階建

六郷満山の仏教文化の香りとキリスト教的空間を合わせ持つ国東半島。海と山に囲まれ、国道213号線からすぐ入れる場所にある国見ふるさと展示館は、明治初期に築造された庄屋屋敷を保存・利用し、国見町文化の過去から現在に触れることのできる施設です。



階段は傷みが激しく同様の素材で再生

日本人として初めて聖地エルサレムに足を踏み入れた宣教師は、ペトロ岐部カスイである。江戸初期現在のように自由に、気軽に世界に出て行ける時代とはまるで状況が違う当時、そしてここ国東半島は、六郷満山仏教文化が鎌倉時代より培われた地域である。それと同時にキリスト教文化が混在していたのであろう。

ペトロ岐部カスイは、長崎のセナリヨ（神学校）卒業ののち、禁教令によりマカオに追放される。司祭となるためにマカオからローマを目指し旅を始めました。ゴア～ペルシア～エルサレムと渡り、1620年遂にローマへと到着しました。熱心な修行の結果その年の11月には司祭に叙せられる異例の出世を果たします。しかし、その当時の日本での迫害悪化の報に心を痛めて帰国の意思を固め、アフリカ廻りで10年の歳月を費やし帰国。潜伏しての布教活動に努めていましたが、仙台藩で捕らえられ、1639年、52歳の若さで江戸にて殉教を遂げたのです。

施設の概要は、約3,000㎡の敷地に過去に栄えた地に居を構える大きな屋敷⇒母屋（資料館）、離れ（茶室・民族資料館）、蔵（展示室）、馬屋（食堂・売店）合計約750㎡と趣をこらした1,000㎡の庭園が織り成す素晴らしい佇まいは、隣接の城山公園と共に安らぎを与えてくれるようです。ここでは、時間がゆったりと自然に流れていくように感じます。



民族文化展示

食器や箆・枕、農耕具・漁具といった日常生活に使ったものから焼印などの珍しい品々まで、昔の文化を偲べる興味深い用具が展示されています。



むき出しの天井の梁が見られる展示室



趣をこらした庭園



昔の浴室



ゆったりとした座敷



子供大工道場



高田支部 後藤 憲二

今年度高田支部は、豊後高田市立真玉小学校6年生19人を対象に子供大工道場を開催しました。

夏休みを利用した開催とし、一輪車や運動用具の保管倉庫を作成しました。実際に工具に触れたことが無い子供さんが多く、棟梁さんや大工さんに教えてもらいながら、材料の切り込みから、建て方、屋根工事、外壁工事もみんなで一生懸命やり、小学校最後の年の思い出になったようです。



材料の切り込み風景



建て方風景



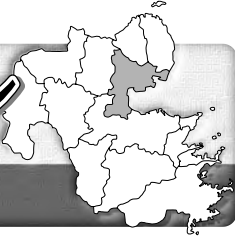
屋根張りの作業も大工さんと共にやりました。



完成後、早速一輪車を収納してみました。



修了式



----- きりとり線 -----

折り紙建築教室の開催について

別府支部 工藤 圭介

別府支部でははじめてとなる折り紙建築教室を平成19年11月10日(土)に野口小学校の4年生から6年生を対象に開催しました。

野口小学校は別府市の中心市街地に近接し開校82年と歴史のある小学校で、地域住民も連帯意識が強く地域ぐるみで学校行事にかかわっています。

別府支部として初めてのことであり、『講師より生徒が少なかったらどうしよう・・・』『いつも最初の会は参加者が少ないらしいよ』等と不安もありましたが、地区の方々のご協力もあり、参加者は保護者等を含めて約25人となりました。

山岡青年部長が、建築士会としての活動などを簡単に説明した後、例題を基に作業手順を説明し、子供たちに作業に入ってもらいました。はじめのうちは、興味津津のまなざしの子もいれば「何がはじまるのかなぁ・・・」と不安そうな表情の子もいましたが、支部のメンバーが逐次指導しながら一つ目の作品ができるころには、カッターを一生懸命握り紙と刃先の一点を見つめ夢中で作業を続ける子でいっぱいになっていました。そんな中で支部のメンバーの緊張も徐々に解け、あっという間に予定の1時間半が過ぎていきました。

終了後、地区の方々からは、『カッターを使用する作業に不安を感じたが子供たちが意外に器用に集中しているのを見て安心しました』、『最近の子供は普段は刃物を使う機会が少ないので、今回はいい経験になりました』、『地区の課外教室で子供たちがここまで集中して取り組む姿に驚きました』との言葉が続き、また地区の代表の方からは『ぜひ来月も・・・』との言葉までいただき大好評のなか終わることができました。

青年部のメンバーも手ごたえを感じた様子で、今後、別府支部でもより多くの子どもたちに折り紙建築の楽しさを知ってもらうため、この活動を広げていきたいと考えています。



父兄関係者も含め20名以上の参加となりました



山岡先生、必死です



生徒もどこか不安そう・・・



しかし数分後には・・・、夢中に



『次はなんを作ろっか・・・』



活 動 報 告

支部長 濱野 一明

白杵土木事務所所長杯ソフトボール大会

10月13日晴天。第31回目となる親睦ソフトボール大会を白杵・佐賀関・津久見の三支部で津久見市営グラウンドにて行なった。久しぶりの顔合わせに話しも弾み、この大会への意気込みがあふれていた三支部。

連覇を狙う佐賀関、連覇阻止を狙う白杵、前回ジャンケンで優勝を逃した津久見の闘志。総当り戦の三試合とも近差の勝敗となり、佐賀関の優勝に終わった。



毎年参加する常連選手は、31年の歴史を語る風格となり、珍プレー好プレーの数々。選手不足で現場職人の応援を受けた津久見支部は優勝を逃しお疲れ模様。

親睦会では、疲労回復のアルコールや豪華料理？で、楽しい一時を皆さんで過ごす事が出来ました。参加人数44名ですが、この様に集まる行事が他に無い事も、盛りあがる一つの条件だったかもしれません。

月あかりの時間となり解散。次期開催は佐賀関だ！

第25回 津久見市ふるさと振興祭

10月27・28日に開催された「津久見市ふるさと振興祭」は22回目の参加。(常連店になった?)

店内では、子ども工作と福祉住宅改修無料相談を行ない、サブ会場で6号機となるホーバー乗船を開催。



子ども工作では、子ども用椅子を一緒に製作スタート。徐々に子ども達の順番待ちの状況、スタッフ不足や材料(キッド)が無くなり初日は閉会時間前に終了。

その夜、キッドの追加作業したのですが、開店すると連続順番待ちとなり大盛況...昼すぎ閉店となった。



子ども達に釘打ち作業やノコ引きで道具が珍しいのか聞いてみたら「楽しい」の一言。

椅子を作っている途中でも、両親に「私の椅子」と楽しげに微笑む子ども。昨年は子ども達に関心がない様だったので期待していなかったのが —なぜ?—

数年前は小学校低学年の子ども達で賑わっていたのが今回は、園児が多く驚きでした。
(子ども参加人数50名以上でした)



サブ会場では、新型のホーバーの乗船を開催。

新型の特徴は、親子で乗船が可能にボディも一回り大きくして、Wモーター式で馬力もアップ。

会場では、子ども対象の店が少なく毎年賑わうホーバー機です。昨年は180人の子ども達を乗せましたが、今回は300人を超える事に予想外で大忙し。

休憩時間半分とフル回転。振興祭閉会時間の30分延長の対応をして無事終了。

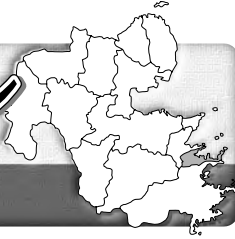
今、子ども達に「建築士会」の名前を覚えてもらえなくても、大きくなった時に思い出してもらえればと願います。

～舞台裏～

今回は1ヶ月期間、夜の作業で準備。

作業が進まず新型ホーバーの発表が怪しい空気の時、昨年のホーバー機の写真が振興祭の広告に掲載された。刺激を受けた姫野事業委員長は仕事を休み製作にあたり祭前夜完成。純白の6号機であったが、写真映りが悪い為、会場でお色直しとなった。当日は会員スタッフと共に浮上走行、賑わいの裏で疲労の会員。

この記事で労いを致します。(大成功でしたね)



津久見市の社寺建築

津久見支部街並み調査会

津久見市の社寺建築調査中間報告を前号で致しましたが、予定の第一期調査が終わり現在支部HPにて写真公開中です。今回は神社33物件・寺院14物件の調査（写真撮影調査）をして、津久見市文化財保存的な建造物がないか見て歩きました。

津久見市は昔、南北に臼杵藩と佐伯藩の領土に別れていた歴史もあり、地域風土の違いや何か珍しい物はないかと期待を抱いて、約半年かけて撮影調査をしてきました。建築物は全体的に小中規模な社寺建築でしたが、宮大工は他県から来ており随所に見入る作品もありました。市街地、山間部と海岸部のそれぞれの古風な物やユニークな物があったので一部紹介します。



下青江地区にある解脱庵寺の駐車場には高さ3mを超える石灯籠があります。



津久見中心地区宮本町に、3人の天皇を奉る赤八幡社があり、敷地内の豊明館の屋根に浦島太郎と亀を発見。（浦島神社となにか関係でも・・・お爺さんになった太郎はその後どうなったか皆さん知っていますか？）そして、参道の楼門にある、天狗と福の巴瓦も参拝者を迎えてくれます。



四浦半島の海岸に位置する高浜地区と落の浦地区。
 漁業の集落では恵比寿様の石造を拝見しますが、高浜天満宮は、恵比寿様の巴瓦が葺かれています。

落の浦天満宮の屋根には、港を眺め口をあけて大笑いしている陽気な恵比寿様がいました。境内には沖縄のシーサー風のこま犬がじっとこちらを見つめ、恵比寿様と場所の交代を待っている様子でした。



市内を見下ろす山間にある村上神社では天狗と河童の面を神殿に飾っています。軒下の暗い所にあるカッパの面を撮影する時、カメラに逆光が映る現象があり、ピントも多少ズレた写真ばかりで隣の天狗は問題なく撮影できたのですが・・・不思議な体験をしました。(結果はこの下写真・・・カメラ異常なし)



映画「22才の別れ」でロケ地となった福良地区にある天満社には龍彫の鬼瓦と何者なのか隅鬼。そして心和むこま犬も迎えてくれますよ。ぜひ一度参拝を！



未調査は保戸島と八戸の遠方になりましたが、歴史ある神社なので、早期調査(参拝)したいと思っています。見なれた町でも散策すると何か発見できますね！

最後に、この調査のきっかけになった故笠木編集長に完結報告する事が出来ず、調査のコメントも頂けず残念です。これまで有難うございました。



三重支部

第1回折り紙建築教室

三重支部 市野瀬 康平

平成19年8月18日、建築士会三重支部では三重東小学校に併設してあるコミュニティセンターで初の折り紙建築教室を行いました。

前日までの申し込みが数組のみで生徒より講師の方が多くなるのではとドキドキしていましたが、夏休みのおかげか当日会場は大盛況で、1年から6年までの児童が計26人、父母が6人、建築士会から8人が参加してくれました。多くの方に参加して頂いて喜ぶ反面、予想を上回る人数のため用意した材料が足りず、対応が後手に廻る一面もありました。次回開催時には気をつけたいところです。

参加児童は小学校低学年の女子児童が多く、おそらく折り紙建築という名前の為と思われます。



3年生以上の児童を対象に建築士会の後藤氏（後藤建築設計）よりカッターの使い方や紙の切り方の指導が行われ、工作が始まりました。

初めてカッターを扱うという児童が多く怪我をしないように繰り返し指導をしたり、作業ペースを一定に保つのに一苦勞でした。



それでも扱ううちに道具が手に馴染んできたのか細かい細工にも頑張って挑戦出来るようになり、早く完成した児童は建物に色を塗ったり、他の子を手伝ったりしていました。

低学年生でカッターを扱うのを躊躇する子はハサミを使って動物模型の工作をしました。



父母の中にも興味を持たれる方が多く、挑戦したいとの申し出がありました。工作に熱中した方は「お寺」、「大分県警」など難しいものに挑戦していました。



1時間半の時間もあっという間に過ぎ、最後は各々の作品をもって記念写真を撮りました。



初めての開催で必ずしもスムーズな運営とはいえなかったかもしれませんが、作品を持つ児童の笑顔に接し、充実感を得ることができました。児童、士会会員共々とても良い思い出になったと思います。

今回は若干周知不足な面がありましたが、口コミで折り紙教室の認知度が高まってきていることを考えると、三重支部での教室も継続して行くことが大事ではとも感じました。

ドイツ：温泉療養施設 「ヴィタ・クラシカ」の 茶室(休憩所)建設 **その2**

竹田支部 伊東 政博

さて、今回はいよいよ建設工事が本格的に動き始めました。早速お話を進めていきたいと思えます。10月16日竹田市役所から連絡がありまして役員4名で先方からの返信の内容をお聞きしました。12日にメールがきたとのことでした。設計に少し変更させたいところがあったため相談時間が長くなり返答が遅れたことが書かれていました。竹田まちなみ会では今回のお話は金銭の事がネックとなりあまりに時間がかかったものですからたぶん駄目だったのだろうという事で忘れかけていた矢先のことでした。

早速17日に役員会を招集してこれからの事を決める事としました。会議ではまず変更の内容を検討する事はもちろんですが、実際にこれから動き出すという事で臨時総会を召集し決議してからという事としました。25日ということで案内を出し、臨時総会を開き詳しい説明の後出席者全員の賛成をいただき決定となりました。今まで通り役員が実行委員となり進めていく事も決議されいよいよこの事業が本格的に動き出しました。資料集めも順調にはかど見積書の金額の調整に取りかかりました。月末に資料とともに見積書を提出し、返事待ちとしました。

11月12日に市役所に返信が来まして13日役員会を開きましたが内容にちょっと驚きがありました。と言いますのは10月12日に返事が来た時点で先方は発注をし、船便で送ることを考慮してドイツでの着工時期などの打合せの事まで書かれていました。でもまだ変更内容の決定は行われていません。すでに先方の思いと1ヶ月あまりのタイムロスが発生しています。19日に実施工程や材料の調達についての役員会です。大工の棟梁を誰にってもらうかなど早急に決めなければならないことが多くあります。時間が経ってしまっていたので木材にしても多分調達が間に合わなくなるだろうとほとんどの役員が思っていました。10月の時点で木材を発注しておけば間に合ってただろうと思いがら工程表を作成しました。26日、27日にはほとんど決めなければ本当に間に合いません。

各役員に再度役割を確認して26日に最終の役員会

を開く事としました。本当にそれで決めなければ・・・ぎりぎりのところです。

いよいよ26日です。まだドイツからは返事が来ていません。でももう動き始めないと大変です。最初に大工の手配です。2社の協力により原寸にかかれそうです。切込場所も確保できました。12月3日には原寸確認もできそうです。木材については今日は結論が出ませんでしたので担当を決めて再検討となりました。今年中には切込、そして仮組までの予定ですからこの木材の搬入はとても大切なのです。その他の材料については大体間に合うと思っています。



「11月26日打合せ状況」

建築士会竹田支部事務所内に於いてこの日も熱心に話し合いが行なわれました。9人中2人欠席でしたがしっかり話が進みました。

これからは待った無しで作業を進めて行きますが、変更内容の返事はいつ来るのでしょうか。それが決まらなると納まりにも影響しますのでかなり問題もあります。いつ日本から船に積んで送り出すことができるのでしょうか、工程表は出来ていますが実際のところ予定が立たない状態です。変更の事は見積書を見てもたぶん理解しにくいのではと思っています。ドイツ語でも話せば・・・もしくはドイツに行って打ち合わせできれば解決するのに・・・

101号が発行する頃には材料、資材が船に乗っていること（もしくは積み込めそう）を祈りながら今の文章を書いています。

最後は弱気の文章になってしまいましたが複雑な気持ちは変わりません。ただこの事がうまく運ぶと次はいよいよドイツでの建築となるのですが・・・とにかく我々竹田支部会員は全員で頑張っていきます。

次をどうぞ御期待下さいと心の中でつぶやきながら次号ではドイツの現地から記事を書きたいものです…予算がつけば行けるのですが無いでしょうね!?



耐震調査部会の活動報告

日田支部 梶原 和典

日田市において今年4月より「耐震診断費補助事業」制度がスタートしました。日田支部としても、少しでも市民のみなさんにこの制度を知ってもらい、地震に強いまちづくりをめざす必要から、去る11月18日(日)に、昨年に引続き今年も「日田のもりフェア」の開催にあわせ、会場の一画にコーナーを設けて「木造住宅耐震相談会」を開催しました。



コーナーには、市民の関心を惹こうと新潟および阪神地震の被害写真パネルや柱・筋交い等の接合金物を展示しました。

今年は日田市の「耐震診断費補助事業」制度のアピールを兼ねて、日田市建築指導課より3名が、チラシや模型を持って参加していただき、また日田土木事務所からも1名の参加をいただきました。

さらに、去年は事前の周知不足もあって相談に来た市民はごくわずかだったので、今年は客寄せ(?)に県

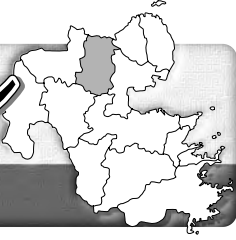
より「地震体験車」をお借りし、操作の為に日田玖珠地域消防本部より2名の参加もいただき、図らずも行政を含め関係者が一体となったの催しとなりました。

当日は物珍しさもあつてか、地震体験車には家族連れや高齢者のご夫妻など約230人の利用があり、大盛況でしたが、肝心の相談者はわずか2件にとどまりました。

日田地方は地震が少ないので市民の関心は薄いだらうとは予想していましたが、全国的に地震の被害のようすが報道されている昨今、少しは意識が高まっているだろうと考えていただけに、市民への周知不足を痛感させられた一日でした。

今後も行政と連携して、地震被害に対し市民が関心を持ってもらうために、今回のような地道な啓発活動を継続していくのはもちろん、他に方法はないのか、知恵を絞らなければならないと感じています。





折り紙 建築

宇佐支部 奥田 和彦

今回は宇佐市立四日市北小学校より「折り紙建築」のご要望があり、お邪魔することになりました。四日市北小学校は、現在、宇佐市の町並み整備工事が行われている地域の小学校です。6年生3クラスを行うという事で、宇佐建設業協会青年部の方々が協力してくれて合同開催しました。



建築業協会青年部の方も初めて「折り紙建築」を見たいで、非常に興味をもたれて、「次回は僕の子供の通っている小学校でもしてください。」という要望も出てきました。宇佐支部では、今後「折り紙建築の輪」を広げていきたいと思ひます。





史跡と浪漫を探訪する 「城下外堀木戸口めぐり」

中津支部 平松 敏生

平成19年11月4日(日) NPO中津まちなみ会の主催で行われました。昨年に続き2回目となった本年度の歴史をたどる散策に、50名の市民の方々の参加をいただき、参加者を代表して中津市副市長 是永氏の挨拶がありました。参加者全員の記念写真撮影の後、中津城二ノ丸跡の公園地広場を出発、現在行われている中津城石垣の解体復元工事について、市教育委員会文化財係の浦井氏から石垣について解説していただきました。



黒田時代の石垣、金箔瓦など出土

なんとこの石垣は九州で最古のもので、安土桃山時代に穴太積(あのおづみ)といわれる石垣造りの専門集団(滋賀県穴太村)の技法で造られていること、しかも



西門(矢倉門)跡の石垣

これが広範囲に残っているのは非常に希なこと、金箔瓦など豊臣秀吉所縁のものが発掘されたことなど。そして現物もみることができました。



金谷口、ガードが日豊線 左手が金谷本町(組屋敷)

小倉口木戸—中津城三の丸の西端の西門を出て、かつての内堀(現在は埋め立てて道路)を渡り西へ向かえば城に最も近い木戸口の金谷口です。西門の石垣は柵型、大石で三方を囲ったもので、隣国の小倉藩との境界が1キロメートル西にあり、防備のための配置が窺えます。この木戸口は隣国に近く重要な木戸故、武士階級の者のみが通行を許され町人など一般の人々は300米ほど南の広津口からの往来でありました。

広津口木戸—木戸口の南側は自性寺で、裏手に外堀の土塁、お囲い山が南に延びて東西にはしるJR日豊線の線路まで、お囲い山はこれから90度東に曲って金谷口へと続きます。日豊線はこの土塁に敷かれたものです。小倉口から広津口にかけての外堀から西側、山国川までを外馬場といい、藩制時代は乗馬や鉄砲の訓練が行われていた場所です。



上勢溜 すぐ右手が島田口木戸

金谷口木戸—日豊線に沿った外堀は金谷西堀端といひ250米ほどで金谷口木戸です。ここは城下と郭外の武家の組屋敷町とを繋ぐ木戸口で横には六所宮(跡)と明王院(跡)があります。木戸口には非常時に対応す

る仮設の陣営を築くために神社や仏閣を配置していますが、小倉口に義氏神社、広津口に自性寺、金谷口には六所宮(跡)明王院(跡)などがそれです。

島田口木戸一金谷口から諸町、新魚町(武家屋敷と商家町人の混在した町筋)を東へ行けば上勢溜、島田口となります。上勢溜は仮設陣営跡で諸町、新魚町、京町、新博多町(商人町)の集った要の場所で、ちょっとした広場です。

蛸瀬口木戸一島田口から新博多町、枝町、寺町と外堀に沿うようにして鷹匠町を経て餌指町、豊後町に至ります。

外堀沿いの寺町は15ヶ寺が連なり、かつては土塁があったので城の防禦線の機能をもたせて町割りが行われたといわれています。寺町は赤壁で有名な合元寺に纏る話など秋満、安部両講師の話の聴かせどころでもありました。

途中、諸町の村上医家資料館(中津市歴史民族資料館分館)に寄り7代玄水が行った人体解剖(文政2年)の資料など観覧。また鷹匠町の大江医家資料館では代々藩の御典医を勤めた大江家の医学、蘭学関係資料、解体新書などが数多く残されています。先哲の偉業が偲ばれる一刻でした。



通り脇に設置された案内標識

蛸瀬口木戸一餌指町を北へ豊後町と直交するあたりが下勢溜で、ここが豊後街道への木戸口、蛸瀬口です。藩制時代は人と物資の往来が盛んで、商家が軒を連ねた賑やかな街道でありました。木戸を出ると外堀ですが今は小さな水路となっています。

蛸瀬口から北へ行けば六番目の木戸口、大塚口ですが、本日の散策はここまでとし、豊後町を西へ真直ぐに行って終着点の二の丸に到着。約2時間の行程でありましたが、参加者全員が無事に公園地広場に再集し、本日の木戸口めぐり散策を終えました。



寺町の通り 右側にかかなり大きな溝があった(蓋がされている)



木戸口を一巡りして中津城へ



合元寺の赤壁



おおいだ建物発掘隊

別府市編

サンドラッグビル壁画 岡本太郎作「緑の太陽」

別府支部 岡田 宏基

意外と知らない人も多い

別府に岡本太郎の作品があるのをご存知でしょうか？別府に住んでいる人の中にも意外と知らない人は多いようです。場所は別府駅西口。一般的に別府駅は駅前通を歩いて10号線のトキハ方面へ向かう東口が表玄関で、こちらは「駅裏」と呼ばれることも多いようですが、その西口から伸びる「青山通り」にその作品があります。

「サンドラッグビル」というのが建物の名称で、現在は皮膚科の医院が1階に開業しています。その4階建てのビルの、駅側に面する壁面一面に岡本太郎が壁画を描いているのです。実際の壁画は信楽焼きのタイル貼りとなっており、別府駅からも望むことができます。



別府駅西口方面から

メキシコで制作された伝説の巨大壁画

また、報道などで紹介されましたので、ご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが、1968年から1969年にかけて岡本太郎はメキシコのホテルに縦5.5メートル、横30メートルという巨大な壁画を制作しています。「明日の神話」と題されたこの壁画は「太陽の塔」に次ぐ岡本太郎の代表作と言われる作品でした。この壁画は依頼者の経済状況の悪化により、仮設置された状態で放置され、行方不明になっていたのですが、35年経った2003年に発見され、大きなニュースとして取り上げられました。その後メキシコにて解体・梱包されたものが日本に移送され、2007年4月から2008年4月まで、東京都現代美術館で特別公開されています。



壁画全景と「TARO」のサイン

1969年という時代

このビルが建設されたのは1969年。当時58歳であった岡本太郎にとっては重要な年でした。岡本太郎と聞いて誰もが真っ先に思い浮かべるのは「太陽の塔」でしょう。1970年に開催された大阪万博のシンボルとしてその制作の最中にあった年でした。



サンドラッグビル銘板



北面は特徴の無いビルに見える

制作のいきさつ

岡本太郎が文字通り時代の寵児であった時に、別府において制作を行ったこととなります。その制作に至るいきさつは次のように伝えられています。

ビル建設にあたって何か記念にすることをしたいと考えたビルのオーナーの佐藤定人氏が、当時佐藤氏が広告を出していた「主婦と生活社」の編集者の紹介により岡本太郎に直談判して制作を依頼したところ、申し出に対して20分ほど黙って考えていた岡本太郎が「現地に行こう」と一言。これがOKの返事であったそうです。

別府との意外なつながり

巨大プロジェクトに追われる岡本太郎が制作を快く引き受けたのには大きな理由がありました。

岡本太郎の両親、漫画家の岡本一平と小説家の岡本かの子は何度か別府を訪れていたのです。大正11年、別府市浜脇で「第8回まんが祭」という催しが開催されました。その時に日本マンガ会会長であった岡本一平はちょうど洋行中で別府に来ることが出来なかったのですが、その後「別府の観光王」油屋熊八の招待を受けて夫婦で別府を訪れたのでした。温泉とおいしい料理、そして油屋熊八のもてなしにすっかり別府が気に入った夫妻は、その後も何度か別府を訪れ、岡本太郎にもその時の話を事あるごとに繰り返し何度も聞かせたのだそうです。

岡本太郎にとって何度も聞かされた両親の思い出の町「別府」。その町のビルの壁面を飾れるのは嬉しいと、上機嫌で引き受けてくれたそうです。

制作の裏話

制作にあたって、下絵の段階はもちろん、タイル作りからタイル貼りまで岡本太郎がすべて指揮をとって行われました。素材となったタイルは本人お気に入りの窯元、滋賀県の信楽焼。モザイク状のタイルを寸分の狂いも無く組み合わせなければならぬため、貼り付けの際も、自ら別府に足を運び、ヘルメットを被って指揮にあたったそうです。



◀タイルはパーツに分けられて取り付けられている



◀地の部分の表面拡大

その壁画制作の際のエピソードが伝えられています。制作上、どうしても上部5メートルほどが足りないことを知ったオーナーの佐藤氏が、ビルがほぼ完成していたにもかかわらず、後で足りない部分を追加し、岡本太郎の作品製作に便宜を図ったそうです。



上部を継ぎ足した様子がわかる



幅が足りなかったのか、腕の部分は回り込んでいる

岡本太郎年譜

- 1911年 神奈川県に生まれる。
- 1918年 2回の転校ののち、慶應幼稚舎に入学。
- 1929年 東京美術学校洋画科入学、半年後中退。
- 1929年 父のロンドン軍縮会議取材に伴い、渡欧。その後、ソルボンヌ大学哲学科で哲学・心理学・民俗学を学ぶ。
- 1940年 パリ陥落に伴い帰国。
- 1946年 復員、世田谷区上野毛にアトリエを構える。
- 1956年 旧東京都庁舎(丹下健三設計)に「日の壁」「月の壁」など11の陶板レリーフを制作。
- 1968年 メキシコの大型ホテル、オテル・デ・メヒコの壁画「明日の神話」制作のために現地にアトリエを構える。
- 1969年 別府に「緑の太陽」制作
- 1970年 大阪の日本万国博覧会のシンボル「太陽の塔」制作。
- 1996年 急性呼吸不全のため死去。享年84歳

行政だより

大分県 建築住宅課

第22回 豊の国木造建築賞

今年度で22回目となる「豊の国木造建築賞」は、52件の応募があり、11月2日に大分センチュリーホテルにて最優秀賞3点、特別賞1点、協賛賞11点の表彰が行われました。表彰式後には毎年行われている「もく・もく塾」にて木造住宅に関するテーマで講演会が行われました。今年は、「板倉の家づくり」というテーマで講師：筑波大学大学院安藤邦廣教授をお招きし講演を行いました。

◆ 最優秀賞

< T邸 >



< 河野邸 >



< 丸長旅館 (伊東邸) >



◆ 特別賞

< 時枝邸 >



防災講演会について

去る10月16日に、コンパルホールにて名古屋大学の福和伸夫教授を講師に迎えて防災講演会を開催しました。



テーマは「迫り来る大地震、そのときに備える！～誰でもわかる3つの原則～」。150名程の方に参加して頂きました。

大地震の危険性、住宅の耐震性を中心に、講演を頂き、参加者全員で紙製軸組模型を作りました。

建築基準法の改正について

○省令改正について

「安全上、防火上及び避難上の危険の度並びに衛生上及び市街地の環境の保全上の有害の度が(変更前より)高くない」ものであれば軽微な変更該当するものとして取り扱います。例えば、戸建て住宅に附属する扉に設けた戸の位置の変更など建築基準関係規定に関係のない図面上の変更については軽微な変更として取り扱います。また、国土交通省では間仕切り等の変更で軽微な変更と扱える事例集を作成することを検討しています。

建築士法の改正について

○管理建築士講習について

建築士法についても省令が改正されます。改正省令施行後は、既に管理建築士になっている方は法施行後3年以内に管理建築士講習を受講してください。

既に管理建築士になっているが、建築士としての実務経験が3年未満の方は、3年を過ぎた時点で受講してください。

◆ 第22回豊の国木造建築賞 受賞作品一覧 ◆

賞		建築主	所在地	用途	設計者		施工者
最優秀賞		堤 俊彰	大分市	住宅	有限会社足立建築事務所 代表取締役 足立 信治 臼杵市		有限会社足立建築事務所 代表取締役 足立 信治 臼杵市
		河野 通介	日田市	住宅	企画・デザイン 河野 孝 日田市	(株)今井工務店 黒木 仁八 日田市	
				実施設計 (株)今井工務店 黒木 仁八 日田市			
	丸長旅館 伊東 義文	竹田市	旅館	(有)川野組一級建築士事務所 川野 和男 竹田市		(有)川野組 川野 和男 竹田市	
特別賞	時枝 哲朗	宇佐市	住宅兼 農村民宿	株式会社降幡建築設計事務所 降幡 廣信 長野県松本市		株式会社高原建設 代表取締役 高原 勝太郎 杵築市	
協 賛 賞	大分県建設業 協会賞	中津市長 新貝 正勝	中津市	集会場 (教育福祉センター)	株式会社ミツワ一級建築士事務所 鴨川 雅彦 中津市		豊洋土建設株式会社 代表取締役 畑迫 強 中津市
	大分県建設 組合連合会賞	山田 恒介	杵築市	住宅	小川建築設計事務所 小川 公一 大分市		株式会社高原建設 代表取締役 高原 勝太郎 杵築市
	大分県建設 合同労働組合賞	山崎 弘道	由布市	住宅 (別荘)	寿DESIGN 田内 将樹 由布市		柳井住建 柳井 九州男 大分市
	大分県 建築士会賞	由布茶寮 伊藤 富美子	由布市	旅館 兼住宅	アス力建築総合研究所 檜原 浩郎 日田市		笹倉工務店(有) 笹倉 徳一郎 日田市
	大分県建築設計 事務所協会賞	志水 淳	大分市	住宅	アーキテック・一級建築士事務所 常廣 竜也 大分市		株式会社竹内工務店 代表取締役社長 篠田 浩利 大分市
	大分県職業能力 開発協会賞	外園 雄一	中津市	住宅	企画・デザイン 意匠職人 町谷 一成 日田市	匠建築工房 佐藤 実 日田市	
				実施設計 匠建築工房 佐藤 実 日田市			
	大分県森林組合 連合会賞	平城 俊作	由布市	住宅 (別荘)	寿DESIGN 田内 将樹 由布市		(有)小野建築 小野 茂美 玖珠郡九重町
	大分県木材協同 組合連合会賞	渡辺 智久	大分市	住宅	ラッツ・アーキテクト株式会社 代表取締役会長 古後 信二 代表取締役社長 伊藤 憲吾 大分市		株式会社平野工務店 代表取締役社長 平野 英壽 別府市
	大分県木材商業 協同組合賞	幸 孝文	別府市	住宅	一級建築士事務所プロデュース 代表 新山 俊則 別府市		株式会社幸建設 代表取締役 幸 勝美 別府市
大分県木造住宅 事業協会賞	(株)井上建設 鷺野展示場	大分市	住宅	(株)井上建設一級建築士事務所 一級建築士 井上 隆次 大分市		(株)井上建設 代表取締役 井上 正見 大分市	
大分県住宅 供給公社賞	山口 雄市	玖珠町	住宅	(有)尾方設計一級建築士事務所 代表取締役 尾方 秀則 玖珠郡玖珠町		梶原建築(有) 代表取締役 梶原 惟利 玖珠郡玖珠町	



事務局だより

【行事報告】

■第50回建築士会全国大会

日時 平成19年9月8日
場所 北海道帯広市 とかちプラザ
参加 21名

■第21回サマーセミナー in ひた

日時 平成19年9月15日
場所 日田市民会館別館
参加 143名
内容 日田市民文化会館「パトリア日田」見学

■第2回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成19年9月29日
場所 大分文化会館 第1小ホール
参加 10名
内容 ・講演会「自然住宅、健康住宅」
講師／藤丸直行氏〔(有)藤丸建設〕
・住宅相談会

■木造塾おおいた

日時 平成19年9月21日
場所 コンパルホール
参加 46名
内容 ・開塾式
・木造トラスの可能性
講師／今井克彦氏 (大阪大学)
・九州産スギ材を用いた木造トラス開発
講師／井上正文氏 (大分大学)

■木造住宅の耐震補強の実務講習会

日時 平成19年10月23日
場所 大分県教育会館
参加 112名
内容 講師／井上正文氏 (大分大学)

■第3回大分県女性建築士住宅セミナー

日時 平成19年11月17日
場所 大分市内住宅
参加 4名
内容 完成住宅内覧会・木造住宅構造見学

■アルメイダ病院増改築工事現場見学会

日時 平成19年11月10日
参加 48名

■第26回ソフトボール大会

日時 平成19年11月17日
場所 野津原総合グラウンド
参加 116名 7チーム

■木造塾おおいた

日時 平成19年11月17日
場所 コンパルホール
参加 16名
内容 木造建築：自作を語る
建築家 佐々野尚文氏
建築家 永田諄和氏

■木造塾おおいた

日時 平成19年12月1日
場所 コンパルホール
参加 25名
内容 国産スギ材の利用の現状と課題
講師／神谷文夫氏〔(独)森林総合研究所〕

【会議報告】

■第4回青年部長・副部長会議

日時 平成19年9月15日
場所 日田市 小松軒
出席 20名
議題 1) パッション in 佐賀について
2) 支部活動状況について
3) 次回青年部長・副部長会議について
4) 公開折り紙建築教室について

■まちづくり推進協議会

日時 平成19年9月26日
場所 事務局
出席 6名
議題 1) 平成19年度事業の実施について
2) 地域貢献活動センターの設立について

■三役会

日時 平成19年9月28日
場所 事務局
出席 9名
議題 1) ソフトボール大会について
2) 建築構造技術センターについて

- 3) 会員の入会促進について
- 4) 支部長・理事合同協議会について 他

- 3) 女性部会活動状況の報告
- 4) 中間決算報告 他

■ソフトボール大会実行委員会

日時 平成19年10月3日
場所 事務局
出席 6名

■調査研究委員会

日時 平成19年10月4日
場所 事務局
出席 8名
議題 1) 支部長・理事合同協議会について
2) 改正建築基準法の対応について
3) 工事請負契約約款の改正について
4) 建築士業務報酬基準の見直しについて

■ソフトボール大会実行委員会

日時 平成19年10月24日
場所 事務局
出席 8名

■編集委員会

日時 平成19年11月8日
場所 コンパルホール
出席 12名
議題 1) 委員長選任について
2) 平成19年度後期編集計画について
3) 建築士おおいたNo.101号の編集について

■三役会

日時 平成19年11月21日
場所 事務局
出席 6名
議題 1) 支部長・理事合同協議会について
2) その他

■編集作業

日時 平成19年11月28日
場所 事務局
出席 5名

■支部長・理事合同協議会

日時 平成19年11月30日
場所 別府市 亀の井ホテル
出席 36名
議題 1) 委員会報告
2) 青年部会活動状況の報告

■第5回青年部長・副部長会議

日時 平成19年12月1日
場所 別府市 竹瓦温泉
出席 12名
議題 1) パッション in 佐賀について
2) 支部活動状況について
3) 活動報告シート、コンセプトボードについて
4) 公開折り紙建築教室について
5) サマーセミナーについて

■第2回女性部役員会

日時 平成19年12月1日
場所 (有)エイチエム建築企画室
出席 5名
議題 女性建築士住宅セミナーについて

■CPD・専攻建築士制度特別委員会

日時 平成19年12月10日
場所 事務局
出席 5名
議題 19年度の取り組みについて

■編集作業

日時 平成19年12月12日
場所 事務局
出席 4名

【建築士会連合会関係】

■第438回定例理事会・士会長合同会議

日時 平成19年9月7日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 ①連合会より報告
・社会資本整備審議会の小委員会の進捗状況について
・建築士指定登録機関及び登録講習について
②第50回建築士会全国大会(北海道大会)について
③平成19年日本建築士会連合会賞の入賞者について 他

【九州ブロック会関係】

■青年建築士協議会・女性建築士協議会役員会

日時 平成19年11月17日

場所 唐津市

出席 後藤青年部会長、阿南女性部会長、岐部青年部幹事、中道女性部幹事

- 議題
- 1) パッション in 佐賀大会の運営について
 - 2) 「建築士の集い」沖縄大会進捗状況について
 - 3) パッション in 長崎大会の進捗状況について
 - 4) 九州ブロック会長会議の報告について

■会長会議

日時 平成19年11月30日

場所 熊本市

出席 養父副会長

- 議題
- 1) ブロック会旅費規約の一部改正について
 - 2) 連合会の理事選出について
 - 3) 連合会より報告

【その他】

■改正建築基準法関係の九州地方ブロック説明会

日時 平成19年9月26日

場所 福岡市

出席 石井常務理事、幸事務局長

- 議題 「改正建築基準法の施行について」
- 1) 改正法の円滑な施行について
 - 2) 主な質疑事項について 他

■改正建築基準法関係の九州地方ブロック説明会 (第2回)

日時 平成19年12月5日

場所 福岡市

出席 石井常務理事、幸事務局長

議題 改正施行規則及び建築確認手続きに関する取り扱いについて

新 会 員 紹 介

(H.19年9月～12月入会)

支 部	氏 名	勤 務 先 (所在地)	電 話
大分	門脇 秀亨	WHITE SPACE kadowaki 一級建築士事務所：大分市寺崎町2-7-26	(097) 551-0263
日田	小笠原 真	(有)小笠原組：日田市二串町344-1	(0973) 24-2946
日田	武内 将勝	(有)宿利建設：日田市諸留町2178-2	(0973) 24-8583

編集委員会では みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願ひ致します。

皆さんいつもお世話になります。
2008年も宜しくお願いします。
Y.G



県南担当

やっとできました。
M T

2回目の編集作業でした。
良くできました？
—マサヒロ—

白杵のAさんいつもすみません。
ありがとうございました！！
E.K

広報委員

担当副会長	〈佐賀関〉	川口	青史
委員長	〈大分〉	長野	幸博
委員	〈大分〉	宮崎	貢一
〃	〈国東〉	上野	靖
〃	〈別府〉	河村	登喜雄
〃	〈白杵〉	板井	達巳
〃	〈三重〉	岡部	和直
〃	〈玖珠〉	穴井	淳一
〃	〈中津〉	富部	
〃	〈日田〉	日高	

編集委員

委員長	〈大分〉	長野	保幸
副委員長	〈津久見〉	竹田	光徳
〃	〈日田〉	秋和	夫二
委員	〈高田〉	後藤	憲宏
〃	〈国東〉	菊本	軍治
〃	〈別府〉	岡田	宏基
〃	〈大分〉	三ツ股	嗣朗
〃	〈大分〉	坪井	敬行
〃	〈大分〉	飯倉	尚之
〃	〈大分〉	岐部	和久
〃	〈大分〉	高山	鮎美
〃	〈佐賀関〉	川口	尚文
〃	〈白杵〉	河野	恵美
〃	〈佐伯〉	寺前	嘉二
〃	〈佐伯〉	中田	智佐美
〃	〈三重〉	後藤	康仁
〃	〈竹田〉	伊東	政博
〃	〈玖珠〉	佐藤	誠司
〃	〈中津〉	松下	明美
〃	〈宇佐〉	奥田	和彦

建築士大分

2008. 1 No. 101

(非売品)

平成19年 12月25日 印刷

平成20年 1月 1日 発行

編集/発行所
社団法人

大分県建築士会
〒870-0022
大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F
TEL 097-532-6607
FAX 097-532-6635

士 楽 豊

式 会 会

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2475	津久見市大字堅浦421-3	0972-82-1805
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場701-5 ウィリングリービル	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4331	玖珠郡玖珠町大字戸畑3466-1 高倉ホーム内	0973-73-7436
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0454	宇佐市大字法鏡寺290-1 服部第3ビル102号	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
高 田 支 部	http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/		
国 東 支 部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別 府 支 部	http://www.beppu-yukemuri.com		
大 分 支 部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐 賀 関 支 部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼 杵 支 部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm		
津 久 見 支 部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐 伯 支 部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三 重 支 部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹 田 支 部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖 珠 支 部	http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/		
日 田 支 部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中 津 支 部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇 佐 支 部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~会員二人で、一人の入会勧誘を~
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会